

イベント開催予告

12月5日、9日、14日、19日、28日

彦根城築城400記念 作陶体験

UTUWAD

彦根築城400年を記念して、湖東焼作陶体験参加者400人を募集中です！
各作品は、芹川沿いに新しく作る窯にて焼成します。
また、400年記念シリアルナンバーを印譜させて頂きます。

- 各日午前の部 (10:00～12:00)、午後の部 (14:00～16:00) を開催
- 場所: 琵琶音湖東体験道場 (佐和山小学校近く、近江鉄道旧武道館)
- 申し込みコース
Aコース: ¥1000 カップやペン立て等の作陶
Bコース: ¥2000 1kgの土での自由作陶
尚、作陶日につきましては各部先着40名にて締め切らせて頂きます。

● お問い合わせ mikayamagoshi@hotmail.co.jp

12月23(土)・24日(日) ＊受付期間12月16日まで
サンタがケーキを届けにやってくる!?
輪ダチ

クリスマス用にデコレーションをしたペロタクシーで、あなたのお家まで
クリスマスケーキをお届けします。
記念にサンタとペロと一緒に写真をパチリ♪

- 料金: 500円/件 (記念撮影はプラス300円)
- 配達エリア: 東西湖岸道路と国道8号線、南北犬上川と芹川に囲まれている地域にお住まいの方のみとさせていただきます。
- 取扱店舗: パテストリー ジュジュ (彦根市長曾根南町548アシストビル1F)
※上記店舗にてクリスマスケーキをご購入の上、必要事項を記載してお申込下さい。
尚、先着順で1日10件までとなっていますので、お早めに。
- お問い合わせ エコスタイル自転車店 (竹内) TEL/FAX:0749-26-2901
- 企画提案・実施: 自転車タクシーチーム「輪ダチ」
<http://wadinowa.blog68.fc2.com/>
- 企画協力: 特定非営利活動法人 五環生活
<http://gokan-seikatsu.jp/>

学生委員会企画

第1回学生会議

2006年9月29日(金)



会議には17チームから総勢24名が参加し、近況報告ほか学生主催シンポジウム、連携・交流と来年度以降の活動について議論しました。連携・交流については意見が飛び交い、会議終了後のフリートークではプロジェクト同士連携実現に向けて有意義な時間となりました。具体的に、障害を持った子供達と行う粘土工作への参加の呼びかけや生き物部会と廃棄バスターズでキャンパス内での植栽企画に廃棄物から作られたプランターの利用についてなどの意見が挙がっていました。

第2回交流会

2006年10月19日(木)



シンポジウム終了後、交流センター2階研修室にて交流会を開催しました(第1回は6月30日開催)。来ていただいたシンポジウムのパネラーの方々にもご参加いただき、外部からの視点で新鮮なご意見を頂くことができました。やはりこうして食事を囲みながらのざっくばらんな場では話が弾みます。今回は途中、10月始めにオープンしたとよさと快蔵プロジェクトのパー「タルタルガ」のオープン記念の映像をみんなで見ました。次回も乞うご期待!

地域と大学を考えるシンポジウム開催 2006年10月19日(木) 場所: 交流センター研修室



今年度第1回目の『地域と大学を考えるシンポジウム～地域活性化に取り組む3大学の事例から学ぶ～』が開催されました！
今回は、現代的教育ニース取組支援プログラムで地域貢献活動に取り組む京都橘大学と立命館大学からそれぞれ学生さんと大学のスタッフ1名ずつ、計4名の方をゲストとして迎え、それぞれの大学の取り組みや今後の方向性について意見交換をしました。他大学の報告などから、私たち「近江楽座」のあり方がみなさん少し見えたでしょうか？今後の方向性については学生会議や交流会でディスカッションしていければ・・・と思っています。

編集後記 ● もう今年が終わる・・・なかなかスムーズに事は運ばず、当初の発行予定から随分遅くなってしまいました。すみません。ノウハウはまだまだ“ひよっこ”です。「近江楽座」と共に成長していきたいと思います。(編集担当S)
● 次号発行は、2月中旬の予定です。次号掲載に向けてイベント取材駆けつけます！1月～3月の間にあと2回交流会開催予定です。

近江楽座 参加プロジェクト活動情報誌

Ohmirakuza.net

近江楽座ホームページ <http://ohmirakuza.net>

オウミラクザドットネット

さてさて、近江楽座に参加するプロジェクトのイベント告知や報告、情報交換や交流を目的としたニュースレター「ohmirakuza.net」がめでたく発行できることになりました！ホームページとリンクしながら情報発信を行います。またプロジェクトメンバーや地域の方々、イベント参加者などの生の声を伝えるため今後も学生委員会が取材など行っていく予定です◎よろしくお祈いしますm(ー)m

vol.1
2006/12/15発行

2006年度活動プロジェクト一覧

- 01 発信基地 in 朽木の森
- 02 リバーウォッチング in 安曇川
- 03 TTP+ (Taga-Town-Project+)
- 04 とよさと快蔵プロジェクト
- 05 アートフォーラム2006
環境とアートのまちづくり in 近江八幡
- 06 山村「男鬼(おおり)」の村おこし
- 07 ヒコネペロタクシープロジェクト
- 08 コノマチ助隊
- 09 いかして民家？
- 10 中山道コンシェルジェ育成プロジェクト
- 11 社会資本としての集住体プロジェクト
- 12 犬上川竹林プロジェクト
- 13 エコキャンパスプロジェクト木楽部会
- 14 再興湖東焼プロモーション事業
- 15 市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾
- 16 障害児・者／自立支援・共生社会プロジェクト
- 17 菜の花エネルギーネットワーク
- 18 Fashion Show
- 19 ひこねブランド
- 20 Let's 複合



ohmirakuza.net キャラクター

メイミは、近江楽座の成長を見守るニューキャラクターです。各プロジェクトチームの活動やネットワークの「芽(メ)」が出て実(ミ)になるまでサポートする」という意味を込めて作りました。

学生委員会製作 2006年度採択プロジェクト紹介冊子 残りわずか!!

交流センターなどで
無料配布中!!!

各プロジェクトが取り組むテーマをわかりやすく9種類のアイコンで整理。楽座の支援プログラムや地域との関わりについて、各チームの概要とスケジュール・活動内容を写真入りでわかりやすく紹介しています。



アイコンの種類↓ 冊子表紙→



産業



観光
発信



環境



防災



子ども



アート
ものづくり



福祉
健康



景観



生活文化
伝統

近江楽座
まち・むら・くらしふれあい工舎

近江楽座プロジェクトチーム イベントレポート

学生運営によるバーが 豊郷町にOPEN!!

2006年10月1日
BARタルタルーガ grand open
とよさと快蔵プロジェクト

豊郷町吉田に日本酒BAR「タルタルーガ」がOPENしました。これは「とよさと快蔵プロジェクト」による4軒目の改修。

岡村酒造さんの機械を使用しない「木樽袋(きぶねふくろ)しぼり」という製法で作られる、数種類の「金亀」を飲みながら食事をとることができる、まさに隠れ家的なお店です。メニューでは、和菓子屋の老舗「いと重」とコラボレーションした日本酒ケーキがおすすめ。

OPEN初日は彦根出身の3ピースバンド「アマネ」さんを招いてのライブも行われました。アコースティックサウンドと蔵の雰囲気が絶妙に相俟った素敵な時間となりました。ライブの行われた夜の部は2回に分けられ、お客さんの入れ替えがあり、予定人数を上回るお客さんでにぎわいました。

運営に関してもプロジェクトメンバーである学生が行うということで、現在は金曜日と土曜日のみの営業。貸し切りも可能で、これから様々なイベントも企画中！蔵独特の雰囲気の中で色々な楽しみ方ができそうです。



この日は特設ステージで演奏です



お客さんの反応も上々のようです



当日はあいにくのお天気だったにもかかわらず、たくさんの方が訪れていました！開店から約2ヶ月経ちましたが、地元の方々や大学関係者、また新聞やテレビなどの報道を見てくださるお客さんたちで毎週にぎわっています。

文・写真 / 木下正之

「タルタルーガ」はイタリア語で「亀」を意味し、酒蔵・岡村本家の銘酒「金亀」に由来します。



近江楽座では20のプロジェクトが様々な活動をしています。今回の創刊号では、3つのチームが最近行ったイベントにスポットを当ててみました。



プロジェクトメンバーから一言
[森千祐(もりかずまさ)くん]

私たち「とよさと快蔵プロジェクト」は、これまで3軒の空き家を学生、社会人のシェアハウスとして改修してきました。住むだけでなく、更に豊郷とのつながりを得るため今回、古蔵をBAR「タルタルーガ」に改修しました。学生+豊郷に住むひと+訪問者が、かきこまった場ではできないお酒を介しての気軽な意見交換をできる場にしていきたいと思っています。

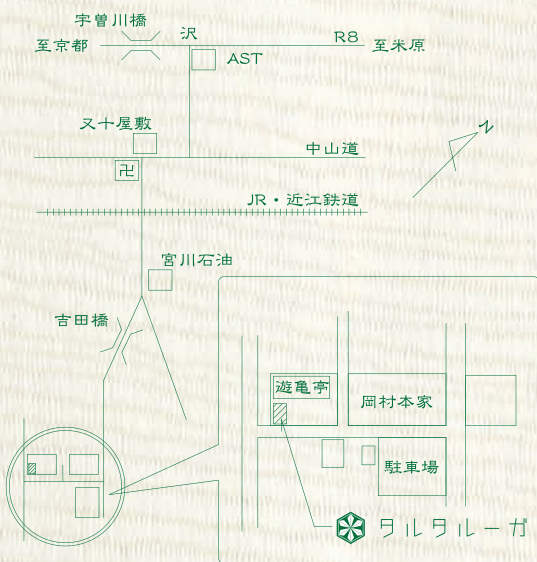
学生がBARを経営するというのは、責任も大きく不安もありますが、学生のうちしか出来ない事も多いと思います。豊郷に新しい流れを起こすキッカケになれるよう頑張ります。ライブ、パーティー、漫才等の企画も予定しています。ぜひ一度お越し下さい。「とよさと流おもてなし」でお待ちしております。

改修の軌跡 ▶ とよさと快蔵プロジェクトブログ
<http://toyotoyo.wablog.com/>

連絡先 ▶ とよさと快蔵プロジェクト
post-toyotoyo@hotmail.co.jp

タルタルーガ

営業時間：毎週金・土曜日 18:30～24:00



国道8号線 沢交差点から線路を越えて約700m
滋賀県犬上郡豊郷町吉田「遊亀亭」敷地内

※飲酒運転はご遠慮下さい

街道が真っ赤に!?



Tシャツにランドセル、消火器まで！

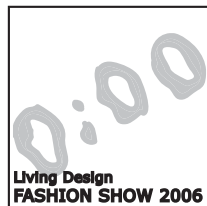


街並み見事に赤く染まりました～

文 / 竹岡寛文
写真 / 杉本さやか

恒例のファッションショー開催!!

2006年10月8日～
Fashion Show
生活デザイン専攻3回



「生活デザイン専攻3回」が、ショッピングモール・ビバシティ、湖風祭、あびす講においてファッションショーを開催しました。

今年のメインテーマである「時間」を「感情」「変化」「時代」の3つのグループで表現していました。3つのグループながら、各グループの中に様々なコンセプトがあり、次々と展開していく内容に、見ているお客さんも惹き込まれていた様子。

ビバシティでは、買い物途中の多くのお客さんの脚光を集めました。また、湖風祭、あびす講ではあいにくの天候ながら、多くの方々が足を止め、ショーに見入っていました。

毎日のように夜遅くまで学校に残り、練習を重ねてきた成果が存分に発揮され、どのステージを見た方も楽しめたのではないのでしょうか。

FASHION SHOW in Viva City

10月8日
15:30～
Viva City特設ステージ

LIVING DESIGN 10TH FASHION SHOW 2006 "0:00"

11月11日
19:00～
湖風祭メインステージ

FS06 "exhibition"

11月12日
11:00～
A3-301(県立大学)

FASHION SHOW in あびす講

11月19日
16:00～
あびす講特設ステージ

生活デザイン専攻3回
Living Design 10th Fashion show ブログ
<http://fs2006.exblog.jp>

2006年8月13日

百彩 in 高宮サマーフェスティバル
C3 (community concierge consultant)

昨年の初開催で話題を呼び、今年2度目を迎えたこのイベント。

江戸時代に東海道の裏街道としてにぎわった中山道(別称:木曾街道)の江戸から64番目の宿場町『高宮』が舞台です。街道沿いを赤く染めてしまおうという学生ならではの斬新なアイデアで、街道沿いのお宅を一軒ずつ訪ねてまわり、家にある赤いものを一日限定で一斉に軒先に出してもらおうという住民参加型のイベントです。2度目とあって学生の企画への賛同・協力して下さった地域の方も多く、提灯やうちわ人形、Tシャツに防火用バケツまで生活の中のあらゆる「赤」が街道を見事に染めました。

この「赤」は鎧をはじめ武具を全て赤で統一した彦根藩井伊家の「赤備え」を由来としています。道路網が発達し、1本の『道』という意識が薄れてしまった中山道が赤によって紡がれ「線」として浮かび上がった1日でした。

当日は、広報活動の甲斐もあって県内外各地からカメラマンもたくさん詰めかけていました。



和装も現代風のアレンジで。



viva cityでのステージ。



あびす講でのパフォーマンス。



最後は達成感に満ちた笑顔が見られました。

文・写真 / 木下正之

開催します

第3回 地域と大学を考えるシンポジウム

第4回 交流会

日時：3/20（火）14：00～16：30

場所：滋賀県立大学 A2-202

プログラム

① プロローグー「近江楽座」プロジェクトフラッシュー

映像で振り返る「近江楽座」三年間の取り組みと成果。

② 基調報告『行政・市民と大学の連携による地域の活性化

について／地域プロデューサーからの提言』

地域再生プロデューサーの肩書きも持つ、ユニークな行政マン愛知県安城市助役の山田朝夫さんを招き、地域活性化への取り組みについてお話し頂きます。

③ 座談会『「近江楽座」Before After

／学生主体の地域貢献活動に対する評価と期待』

楽座での取り組みを通じて得たこと、今後の展開について話し合います。

※ 交流会（希望者のみ）

恒例の学生委員会主催、ざっくばらんな交流会♪

開催しました

体験プログラム

実施期間：2006年11月～12月

学生委員会では、学内の近江楽座に関わっていない学生や、学外の地域からも多くの参加者が期待されるような企画として、近江楽座の活動を体験できる「近江楽座体験プログラム」を実施しました。学生チームに体験プログラムを公募して、応募された企画を学生委員会がコーディネートし、「近江楽座体験プログラム」を作成しました。実施したのはTIP、Harmony、男鬼楽座、エコキャン生き物部会、とよさと快蔵プロジェクトです。学生チームにとっては、自分たちの活動の意味を再確認し、どんな魅力があるのかを再発見するよい機会になりました。

第3回 交流会

2007年1月25日（木）



去年の11月以来、第3回の交流会を開催しました！今回は時期が悪かったのか参加者は少なかったものの、鍋を囲んでの密な会となりました。事務局から来年も楽座継続の報告があり、そのあと各チームの現状や課題、また来年の楽座について話しました。やはりチームによって楽座への思いや期待も違うようですが、地域活動の輪をひろげていくためにこれからも楽座として活動を続け、それぞれのプロジェクトをメニューとして新入生に提示してはどうかという意見も出ていました。3月開催予定の第4回は盛大に行いたいと思いますのでぜひご参加下さい！

現代GP近江楽座3年間の締めくくり。

たくさんのご参加をお待ちしています!!

プレゼント応募方法 3月9日（金）〆切（当日消印有効）

① ベロタクシー無料乗車ペアチケット

3組様 輪ダチ

今回は彦根観光60分コースをご用意。ベロタクシーでちょっと変わった2人だけの時間を演出致します。日程とお時間はお問い合わせ下さい。詳しくは<http://gokan-seikatsu.jp/velo/> をご覧下さい。

② 鳥居本エコツアー1万円引券

2名様 C3

中山道、朝鮮人街道、そして北に登る北国街道の分岐点である「鳥居本」を体験・散策してみませんか？琵琶湖を眼下に見る望湖堂茶屋でのお茶会・道中薬「赤玉神教丸」製造元見学・野草摘みと試食「鳥居本合羽」の試着、絵はがき作り体験など盛りだくさん。詳しくは<http://gokan-seikatsu.jp/tour/> をご覧下さい。

③ タルタルーガお食事券1000円分

3名様 とよさと快蔵プロジェクト

オープンから早5ヶ月！毎週金、土の19:00時から営業。団体様のご応募も可です。金亀はもちろんカクテル各種、おしゃれな料理をご用意しております。学生ならではのサービスと蔵の雰囲気をお楽しみ下さい。

④ リサイクルプランター 限定10個

廃棄物バスターズ

家庭内のプラスチックゴミからできている環境に優しいプランター。一般のリサイクル製品のリサイクル率は良くても70%程度ですが、今回ご提供するは95%以上です。大きさは高さ13cm×幅15cm程度、片手で持てます。色は灰色と緑色の中間の色（リサイクル製品の色）となっています。他にはないプランターで春からガーデニングはいかが？

メール・ハガキ・FAXにて受付致します。

氏名・性別・年齢・所属・住所・電話番号・メールアドレス・ご希望のプレゼント名（④は個数も記入）

を明記の上、滋賀県立大学地域づくり調査研究センターまでお送り下さい。

応募先：滋賀県立大学地域づくり調査研究センター

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500 FAX:0749-28-8567 E-mail: rakuza@ses.usp.ac.jp

重複募集可。応募多数の場合は抽選といたします。当選者の方には直接ご連絡致します。原則として、直接お渡し致しますのでご了承下さい。

当選者のお名前は、学内掲示板と楽座HPトップページブログに記載させて頂きます。



プロジェクトチームからの プレゼント企画 イベントレポート

近江楽座を身近に感じてもらうため、4つのチームからプレゼントを用意しました。詳しくは4Pへ！

ohmi
オウミ
rakuza
ラクザ
.net
ドットネット

vol.2
2007/2/21発行

2006年度活動プロジェクト一覧

- | | | | |
|---|-----------------------|---|--------------------------|
| 01 発信基地 in 朽木の森 | 06 山村「男鬼(おおり)」の村おこし | 11 社会資本としての集住体プロジェクト | 16 障害児・者/自立支援・共生社会プロジェクト |
| 02 リバーウォッチング in 安曇川 | 07 ヒコネペロタクシープロジェクト | 12 犬上川竹林プロジェクト | 17 葉の花エネルギーネットワーク |
| 03 TTP+ (Taga-Town-Project+) | 08 コノマチ助隊 | 13 エコキャンパスプロジェクト木楽部会 | 18 Fashion Show |
| 04 とよさと快蔵プロジェクト | 09 いかして民家? | 14 再興湖東焼プロモーション事業 | 19 ひこねブランド |
| 05 アートフォーラム2006
環境とアートのまちづくり in 近江八幡 | 10 中山道コンシェルジュ育成プロジェクト | 15 市民および医療に携わる人々との
ふれあいを通して志向する未来看護塾 | 20 Let's 複合 |

近江楽座プロジェクトチーム イベントレポート

今号のこのページでは、4つのチームが年末から最近にかけて行ったイベントを紹介します!!

2006年12月5、9、14、19、28日

彦根城築城400年記念 湖東焼き作陶体験 UTSUWAD



詳しい情報はコチラ
↓↓↓
<http://www.kotoyaki.com>

彦根城築城400年を記念して、400人による湖東焼作陶体験を開催しました。子どもから大人までたくさんの方に参加して頂き、400個の素敵な作品が完成しました。普段はなかなかチャレンジする機会のない陶芸に、みなさん夢中になって楽しんで頂けることができました。これらの作品は、現在芹川沿いに新しく築窯中の晒屋窯(さらしやかま)にて焼成されます。またこの晒屋窯のレンガの煙突部分には今回作陶体験に参加して頂いたみなさんのお名前が入ります。完成までにはまだもう少し時間がかかりますが、今から作品の焼き上がりが楽しみです。

1895年におよそ60年という短い年月でその歴史に幕をとじた湖東焼ですが、こうした活動により再び彦根の焼きものとしてみなさんに愛して頂ければと思います。これからもみなさんに楽しんで頂けるようなイベントを計画していきたいと思っています。

文・写真 山越美香

2006年12月21日

彦根市立病院での クリスマス会 未来看護塾



彦根市立病院の小児科病棟では毎年クリスマス会が開かれています。去年に引き続いて今年も私たち未来看護塾が企画させてもらいました。

今年のクリスマス会にも小児病棟の子ども達だけでなく、他の病棟から高齢者の方や家族の方など幅広い年齢層の方々、約40人がクリスマス会に参加してくれました。

クリスマス会に参加してくれた人に少しでも楽しい時間をすごしてもらえるようにと、ハンドベルでの演奏や合唱、参加者と学生が一緒になってクリスマスカード作りなどをしました。さらに、担当の教員が扮する魔法学校の魔女先生と生徒が現われ、手品を披露しました。これには参加者だけでなく学生もビックリでした。最後に学生が変身したサンタクロースが、手作りの動物の形をした風船(アートバルーン)を一人ひとりにプレゼントすると子ども達は大喜びでした。

子ども達や参加してくれた方々の笑顔や楽しかったよという言葉はとても嬉しく、大変だった準備も一瞬で忘れさせてくれるほどでした。

文・写真 原田勝博

2006年12月23・24日

サンタが ケーキを届けに やってくる!? 輪ダチ



詳しい情報はコチラ
↓↓↓
<http://wadatinowa.blog68.fc2.com/>

サンタクロースがトナカイからペロタクシーに乗りかえてケーキを配達しました!

きらびやかに装飾されたペロタクシーが彦根の町をさっそうと走ってきます。法改正を待っているペロタクシーは1人しか乗れないのでサンタさんのおつき2人が自転車で並走。町中ではやっぱりかなり目立っていました。

ケーキを持ってお宅訪問するのはなぜか中国語を話すサンタさん。時には家に招き入れられパーティー開幕の乾杯に参加したり。もちろん飲酒運転はいたしません。

ケーキは彦根が誇るスイーツの名店ジュジュさんで味には自信あり。ただペロタクシーでの輸送でひっくり返っていないかサンタさんも心配している様子でした。が、安全運転のおかげで無事に届けられました!

記念撮影や試乗にも応えてペロタクシーを知ってもらういい機会になりました!

法改正されて彦根の町を走るまであと1ヶ月あまり。順調に(?)準備も進んでいます!お客さんを乗せて彦根を走るその日がとても楽しみです。

文・写真 竹岡寛文

2007年2月10・11日

宿楽 in 豊郷町 C3



詳しい情報はコチラ
↓↓↓
<http://www.ses.usp.ac.jp/nakasendo/>

天候はまずまずの曇りからスタートしたツアー一日目。まずはゆっくり豊郷のまちを堪能しつつ岡村本家までウォーキング。伊藤忠兵衛の旧宅や豊会館を経て、13名のお客様が岡村本家に到着しました。寒い中歩いてきて疲れた身体に嬉しい岡村本家特製の甘酒をもてなされ、酒米や酒に使う水の飲み比べをしたりと、味覚から岡村本家のこだわりを感じることができました。夜はおいしいご飯と岡村本家のお酒をたっぷりいただき、ほろよい気分の中、杜氏部屋や蔵で就寝していただきました。

二日目はいよいよメインの酒造り体験。酒造りのすべての過程が体験できる酒蔵は大変珍しく、日本酒ファンのお客様は大変喜んでおられました。作業は真剣そのもの、杜氏さんの話にも力が入ります。舌はもちろんのこと、目で、手で、鼻で、感覚をフルに使って、岡村本家の酒造りを体感できたのではないのでしょうか。一日目ではまだ固かったみなさんの表情も、酒造り体験によりすっかり打ち解けて、最後にはたくさんの笑顔を見ることができました。自分が作ったオリジナルのラベルを貼った世界で一つだけのお酒は、たくさんの思い出が詰まった世界一おいしいお酒になることでしょう。

文・写真 杉本さやか



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

● 近江楽座が本になります

近江楽座が本学で現代 GP としてその歩みをスタートしてから今年で4年目。とうとう、楽座の取り組みが“本”として出版されることが決まりました！これまで活動してきたプロジェクトの活動ドキュメントやコラムなど、近江楽座の汗と涙の記録がたっぷりつまった本になる予定です。現在、学生チームを始め、出版ワーキンググループが誠意作業中。みなさんにお披露目するのは春ごろの予定です。どうぞお楽しみに♪

● “楽座語録”を募集しています☆

ちょっといい話、苦労した話、切ない話…マジメな話から、ゆるい小話まで、あなただけの“近江楽座の思い出”を募集しています。おもしろエピソード、つぶやき、ボエム、誰かへの熱いメッセージ、暴露話… 近江楽座にまつわる言葉・文章なら何でもOK。形態や内容は問いません。学生や教員、地域の方々など、これまで近江楽座のプロジェクトに関わった方なら誰でも応募可能です。作品は、近春出版予定の近江楽座本(仮)に「楽座語録」として掲載される予定です。みなさんの、楽座語録をお待ちしています！

◆ 応募の詳細

- ・一つの作品につき、100文字以内をお願いします。
- ・一人何点でも応募可。
- ・匿名でも応募できますが、賞品希望の場合は名前を忘れずに記入してください(ペンネーム可)

◆ 応募方法：チラシの裏にある応募用紙もしくはメール(ケータイ可)で応募してください。

① 応募用紙で応募する場合：応募用紙に必要事項を記入し、専用の応募箱(食堂前の楽座専用掲示板横 or 交流センター事務室前)に入れる。

② メールで応募する場合：メールの Subject 欄に、「楽座語録 応募」と書き、本文に必要事項を記入の上、下記アドレスまで送信する。これまでに近江楽座のプロジェクトメンバーとして活動したことがある学生・教員なら誰でも。

◆ 応募の締切り：2/29(金)

◆ 賞品：応募作品のうち、優秀賞として20名様に図書券2000円分を、最もインパクトのあったネタを提供してくれた1名様には、最優秀賞として図書券1万円分をさしあげます。当選者は近江楽座掲示板並びにHPにて発表します。(3月中旬予定)

◆ その他：編集の都合上、全部の作品を掲載できないことがあります。

◆ 問い合わせ：近江楽座事務局／

E-mail: goroku@ohmirakuza.net (楽座語録応募専用)

■ TEAM NEWS

まるエコたたえあう交流会に参加

1月27日(日)、大津市のピアザ淡海にて、第3回湖国まるごとエコミュージアムたたえあう交流会が開催されました。参加した41団体の参加のうち、近江楽座からも「とよさと快蔵プロジェクト」と「信楽人」がエントリー。第1回では廃棄物バスターズ、第2回はとよさと快蔵プロジェクトがまるエコ奨励賞を受賞しましたが、今年は残念ながら両チーム受賞ならず(涙)。しかし、200人近い参加者たちと共に、互いの活動を紹介したり意見交換したりと、交流を深めることができました。

土壁ワークショップを開催しました

とよさと快蔵プロジェクトでは、12/23と1/20の2回に渡って、磯部邸の土壁塗り体験ワークショップを開催しました。そもそもなぜ土壁！？実は、この磯部邸の耐震診断をしてもらったところ壁を増やしたほうがいいとアドバイスをもらい、それ

ならば、この建物のように、柱や梁はもちろん、壁も竹であんだこまに土を塗りつけるという昔ながらの伝統工法を取り入れようということになったわけです。土壁塗りの工程は、大きく分けて荒塗り(表)・荒塗り(裏)・ナオシ・中塗りの4工程があり、12/23はその第1弾である表の荒塗り。この日はなんとNHKが「とよさと快蔵プロジェクト」の取材に来てくれ、メンバーもやる気十分！！大学の先輩でもある左官職人さんをゲストにお迎えし、レクチャーを受けながら2人1組となって1枚の壁を仕上げました。

1/20も、引き続き職人の先輩に来ていただき、2回目の土壁塗りを行いました。2回目ということで順調に進み、なんとか夕方くらいには無事作業が終了。近日中に、土壁塗り第3回目も実施する予定です。磯部邸改修の進捗は、とよさと快蔵プロジェクトのブログで見られます。泥まみれで奮闘した僕たちの様子を覗いてみてくださいね☆
http://toyotoyo.wablog.com/



■ PICK UP

15. 人と自然を繋げる会 by エコキャンパスプロジェクト

「滋賀県立大学を循環型社会のモデルにする」ことを目標として立ち上げられたエコキャンパスプロジェクト。活動5年目にあたる今年度は、今までの調査や活動で得たことを踏まえ、大学のキャンパスを自然と身近に触れ合える憩いの場として、地域住民に利用してもらうための活動に取り組めます。具体的には、大学の恵まれた自然環境を活かしながら地域住民を対象として観察会や草木染め、草木紙づくりなどの企画を実施したり、これまでの自然環境調査の結果で明らかになった貴重な鳥や生物の繁殖場所としての大学の価値を高めるため、大学の自然環境を改善するための取り組みを展開していきます。



< 毎号近江楽座のプロジェクトを紹介していきます！

16. 八日市屋台プロジェクト(プロジェクトY) by わいわい楽座

近年の周辺市町の合併により広い行政区域となったことで、東近江市における中心地としての新たな位置づけが求められている八日市中心市街地。私たちは、これらをフィールドに、まちに残されている歴史的・自然的要素や各種機能や人材について調査を行い、既存の取り組みに新たな視点からの活動を提案し、実施することにより、恒常的なぎわいを創出することを目的として活動します。今年度は、商店街を中心とした八日市市街地の調査や、地域の祭での屋台制作ならびにファッションイベントの実施、調査を元にした観光客及び市民のための地図や、GISを利用したデータの整備など、学生ならではの視点で今まで見逃されてきた中心市街地の新たな可能性を抽出していきます。



17. Living Design Fashion Show byLiving Design 11th

滋賀県は琵琶湖の豊かな水資源を背景に、古くから繊維産業が栄えてきました。綿・絹・麻の三大天然繊維を一つの県で生産していることはとても特徴的であり、滋賀県の誇るべき伝統産業であるといえます。そこで、私たちは、自然と伝統が生み出したこの滋賀県の繊維産業を寄り多くのの人に知ってもらうことを目的として、「ファッションショー」を企画・開催します。今年度は、ショーのサブイベントとしての展示会の開催やプロジェクトHPの作成などを通じて、ショーのプロセスからの情報発信にも着目しながら活動をしていきたいと考えています。



18. Let 's 複合 by 廃棄物バスターズ

私たちは、これまで一般の家庭から排出されるプラスチック廃棄物95%でできたリサイクル・プランターを製造することに成功し、商品化に向けての研究や普及活動に取り組んできました。3年目となる今年度は、リサイクルを視野に入れた商品の品質改良はもちろんのこと、地元企業と協力してのプランターの商品化推進、彦根城築城400年祭や公共施設へのプランター提供と地域美化活動など、普及活動にも積極的に力を入れていきます。これらの活動を通じて「リサイクル材料を用いた商品でビジネスモデルを確立することで、産官学が連携した一つのあり方を社会に示すことができると考えています。



■ チーム伝言板

【C3】宿楽 近江杜氏[宿泊体験]一酒が「醸し」、 「造る」ほんまもの時間ー

C3 が企画提案し、毎年好評をいただいている宿楽を今年も開催します！滋賀県・特に湖東地方は、鈴鹿山系を源とする良質な伏流水と、近江米を使ったおいしい酒ができる場所。宿楽では、豊郷町にある県下でも有数の蔵元「岡村本家」を舞台に、普段一般の人が入ることのできない麹部屋での「麹づくり」、「仕込み」、そして、今では珍しい木製のしぼり機で酒袋を絞る、酒造りを体験し、夜はかつて杜氏が泊まった蔵の中に宿泊します。また、お土産に岡村本家の「米麹」を使って、世界に一つだけの自分の甘酒やどぶろくを作ります。毎年応募者多数！お早めにお申し込みください！■日時：2/9(土)～10(日)■場所：滋賀県犬上郡豊郷町「岡村本家」■参加費：お1人様15,000円（食事代、体験メニュー代、保険代、温泉代、お土産代を含みます）※お子さんを同伴される場合は食事内容、価格、酒造り体験中の託児等考慮します。■定員：各20名（定員になり次第締切。）■申込方法：必要事項（参加者の住所・氏名・ご連絡先・参加人数）を、お電話、fax、E-mail、郵送のいずれかで下記まで。（※お子様連れの場合は、あらかじめお伝えください。）■日程の詳細、参加費の支払方法、キャンセル料その他については下記HPを参照してください。■問い合わせ：NPO 法人五環生活 <http://gokan-seikatsu.jp> / TEL:0749-26-1463 / E-mail: mail@gokan-seikatsu.jp

【エコキャンパスプロジェクト】竹炭作り & 竹の伐採参加者募集！

犬上川から伐り出してきた400kgの竹を使って、竹炭を作ります。炭焼きの間は、お楽しみの焼き芋作りや、地域に据え付ける看板の製作を行う予定です。めったにお目にかかれない窯での炭焼きを、ぜひ一度体験してみませんか。また、それに先立ち、2/16(土)9:00～炭焼きの準備のための竹の伐り出しを行います。参加者同時募集。小雨決行。詳しくは、下記までお問い合わせください。■日時：2/22(日)9:00～23(土)の夕方にかけて（小雨決行）■集合：大学エコキャンパスセンター（場所がわからない方は連絡ください）■持ち物：汚れてもよい服でお越しください。雨天時は雨合羽と長靴が必要です。■問い合わせ・申し込み：開催日の5日前までに、エコキャンパスプロジェクト（吉川）まで：E-mail: ecology-department30@hotmail.co.jp

【とよさと快蔵プロジェクト】エコ民家フォーラムを開催します

古い家には昔の人の知恵が詰まっていて、無駄なものがない！とよさと快蔵プロジェクトでは、“古民家をエコ民家にしよう”を目標に、今年度磯部邸の改修に取り組んでいます。改修中の磯部邸は・エコ民家では、おくどさんや五右衛門風呂の活用、雨水の利用、コンポストトイレや太陽光発電、薪ストーブの導入など、様々な昔の知恵を織り交ぜながら、2Fをシェアルームに、1Fはコミュニティスペースとして町の人たちに開放する予定です。そこで、現在改修中の磯部邸の様子をリアルタイムにお伝えするべく、来る3月9日に、豊郷町吉田の岡村本家にて「エコ民家フォーラム」を開催します。フォーラムでは、スライドを使っての説明会や現地見学、落語家さんによるショーや交流会を予定しています。これを機会に、町の人に磯部邸について理解してもらい、たくさんの方に利用してもらいたいと思っています。もちろん、町民以外の方でもどなたでもご参加いただけますので、ぜひ、お越しください。時間などの詳細は、とよさと快蔵プロジェクトブログをご覧ください。■日時：3/9(日)■場所：豊郷町吉田磯部邸（愛知神社前）■参加費：無料■問い合わせ：とよさと快蔵プロジェクト E-mail: post-toyotoyo@hotmail.co.jp / URL: <http://toyotoyo.wablog.com/>

■ 事務局だより

▼「都市と地方の交流居住・移住促進事業」 交流会議開催のお知らせ

今年度Bプロジェクトとして、一部の企画運営に携わった「都市と地方の交流居住・移住促進事業」。昨秋実施した湖北4地域での体験事業について、その成果や課題、その後の動きなどの情報を共有するとともに、さらに今後の推進体制を検討していくための交流会議を開催します。本事業に関心のある方、関わってみたいとお考えの方も自由にご参加いただけますので、事務局までお問い合わせ下さい。■日時：2/29(金)19:00～21:30■場所：滋賀県立文化産業交流会館第2会議室（JR米原駅徒歩5分）■内容：取り組み報告、意見交換など■問い合わせ：近江楽座事務局（連絡先は1面上部に掲載）

■「都市と地方の交流居住・移住促進事業」
○伊吹山麓「農のある田舎暮らし体験」(07/10/20～21)
○浅井の里「古民家の空き家見学」(07/11/3)
○奥琵琶湖余呉「2日間て上手に田舎を知る」(07/11/10～11)
○北国街道木之本「よみがえり町家再生塾」(07/11/17)
これまでに実施した体験事業の様子は、下記HPにも掲載しています。

滋賀県湖北地域への交流居住・移住に関する情報サイト「コホクスタイル」
<http://www.cohok-style.jp/>

■ 今月の楽座

2月の近江楽座の主な活動予定です。

- ◎2/29「都市と地方の交流居住・移住促進事業」交流会議
- 2/16 竹の除伐・間伐、2/22 竹炭作り（エコキャンパスプロジェクト）
- 活動報告書の作成（男鬼楽座）
- 定例活動（ボランティアサークルHarmony）
- 共栄会空き地整備（TTP+）
- 報告書制作・調査（とよさと快蔵プロジェクト）
- 聞き取り調査、地域向けの広報誌の作成・配布、体育館改築事業の記録編集住民参加によるワークショップの開催（くつきチーム）
- プランター以外の廃プラ・リサイクル製品の検討（廃棄物バスターズ）

【編集後記】

ただいま「近江楽座本」発行に向けて大忙しの毎日。学生たちも、忙しい中原稿を書いたり、取材を受けたりとがんばってくれています。知ったつもりではいても、改めて文章として彼らの活動を見ると、新たな発見がいっぱい。いい本になるといいなあ。がんばります☆みなさんからも、おもしろい楽座語録、お待ちしてます！（みた）



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

RAKUZA TOPIC

● 近江楽座 2007 年度が終了しました！

4/19 (土)、大学交流センターにて、2007 年度活動成果発表会を開催しました。それぞれの活動報告パネルや、活動で使っている道具や成果物など様々な目を引く展示物に囲まれたにぎやかな会場で会はスタート。パワー



ポイントあり、映像あり、かぶりモノあり(笑)と、各プロジェクトが工夫を凝らして1年間の活動の成果を発表しました。

また、当日は、プロジェクトが共に活動する協力団体のみなさんにもたくさんお越しいただき、プロジェクトの発表の後に、学生たちの地域での活動に対するコメントや、応援メッセージをいただきました。地域の方々からいただいた温かいお言葉は、決して一方通行ではない、近江楽座の最大の特徴を表しているようにも思えました。



当日発表した学生からは、「他のプロジェクトの活動の様子を聞いたり、教員からの指摘を受けることで、自分たちの活動を客観的に見ることができた」、「地元の方からのコメントがあったことで、学生の発表ではわからない各プロジェクトの一面を見ることができてよかった」という声を聞くことができました。地域の方々からも、改めて、近江楽座という取組みに期待の声が多く寄せられました。

発表会終了後、学生委員会主催で行われた交流会では、メンバーお手製のちらし寿司がふるまわれ、チームの垣根を越えて交流を深めました。



笑いあり、そして時には涙ありの近江楽座 2007 年度の活動は、今回、参加者 120 名の大盛況の発表会を持って、無事幕を下ろすことができました。2007 年度、近江楽座に関わった全ての皆さんへ、お礼を申し上げます。ありがとうございました！！

※当日の様子を、「報告集」としてまとめました。興味のある方は、事務局までお尋ねください。

● 2007 年度 MIP が決定★

成果発表会に参加してくださった方により、二つの「2007 近江楽座 "MIP" (Most Impressive Project, Most Impressive Panel) が決定しました！

■ Most Impressive Panel (最も印象に残ったパネル)

★「信・楽・人-shigaraki field gallery project」信楽人

★「発信基地 in 朽木の森」くつきチーム

(同票で 2 チームが一位でした！)



▼信楽人へのコメント

- ・写真やレイアウトがきれいで、時系列に並んでいて、活動の流れがわかりやすかったです。
- ・紙がいいし、写真がきれい！イメージが活動とマッチしている感じ。
- ・パネルの写真の上に並んでいる数字は、みなさんが活動した日づけでしょうか？「shiroiro-ie」が完成していく様子が、淡々と数字と写真でつづられていて、シンプルながらもとてもインパクトがありますね。写真も、アングルや構成などが工夫されていて、ただ撮るのではなく、意識して“魅せる・語る”写真を残すことの重要性を感じさせます。

さらに、物件の広さ、かかった予算、携わった人数など、数値的なデータがあると、よりギャラリーや作業の様子が読み手に伝わるのではないのでしょうか。

▼くつきチームへのコメント

- ・地域の小学生の描いたキャラクターを取り入れて構成されたパネルは地域と双方向で関わっている活動の様子をよく伝えている。レイアウトやデザインも非常にわかりやすかつ楽しさをよく表現していると思います。
- ・活動内容がわかりやすく、関心を持って読めるように工夫されていた。
- ・活動趣旨、活動成果、活動写真などが、どれもバランスよく配置されていて、この 1 枚でくつきチームのことがよくわかります。色や文字の大きさ、文章表現など、読み手のことを考えられており、お年寄りから子どもたちまでたくさんの人に見ただけのパネルになったのではないのでしょうか。朽木の子どものイラストがキュート！



■ Most Impressive Project (最も印象に残ったプロジェクト)

★「とよさと快蔵プロジェクト」とよさと快蔵プロジェクト

▼とよさと快蔵プロジェクトへのコメント

- ・地域の伝統文化、あるいは自然資源を見直し、現代的価値を見出し、それに付け加えて新たな環境価値を創造する取組に興味を持ちました。
- ・活動成果に魅力があります。古民家再生の新たなスタイルとして、今後がんばってください！
- ・実際に何軒もの物件の改装を実現させているところがすごい！
- ・今回の発表会では、それぞれのプロジェクトで、プレゼンのスキルの差が大きく出ていたように思います。とよさとさんは、着実な活動実績を評価されたのはもちろん、パネルやプレゼンなどの「伝える技術」が上手でした。



■ TEAM NEWS

●くつきチームへ高島市から感謝状



近江楽座」を通じた地域貢献活動に関して、「くつきチーム」および本学に対して、高島市長から感謝状が贈呈されました！

くつきチームは、高島市が2カ年にわたって行う、朽木中学校・東小学校の体育館建築にむ

けた地域参加型プロジェクトへの参加を中心に活動し、ワークショップの開催や記録紙「朽木ぐるぐる瓦版」の発行を通じて、

幅広い世代の地域住民がさまざまな形で参加できるしかけづくりをサポートしました。

こうした活動が高島市から「県立大学近江楽座の教育プログラムを活用し、情報提供を通じて、教育、森林、地域等の密接な連携を図るなど、地域活性化に対して多大なる貢献をした」と評価され、くつきチームの学生と本学に対して感謝状と扇子(高島市の地場産業)を贈呈されたのです。

5月16日、高島市教育委員会事務局の教育部長が来学され、曾我学長およびくつきチームのメンバー5人一人一人に感謝状が手渡されました。メンバー達は「学生活動は学生から地域へと一方的になりがちだが、双方向で活動していように努めた。今回私たちの活動が認めてもらえてうれしい。」「朽木の自然が好き。その朽木の木を使った体育館づくりに携われてうれしかった。」など、これまでの活動を振り返っての感想を述べました。

くつきチームの皆さん、おめでとうございます^^

■ 事務局だより

▼2008年度Aプロジェクト公開プレゼンテーションを開催します

2008年度Aプロジェクトがもうすぐ決定します！

今年は応募があった新規5チームを含む22件プロジェクトが、近江楽座への採択を目指して、真剣に、楽しく、熱いプレゼンを繰り広げます。さて、今年はどんな顔ぶれになるでしょうか。

地域とともに活動する県立大学生のみなさん、県立大学生とともに活動する(したい)地域のみなさん、ぜひ応援に来てください！！ ■日時：5/24日(土)9:00~13:30 ■場所：滋賀県立大学交流センター研修室1 ■内容：全22プロジェクトによるプレゼンテーション

【プレゼンテーション参加プロジェクト】

- ・ACTQ座コノマチ創り隊
- ・近江中山道百彩プロジェクト
- ・障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト
- ・菜の花エネルギー
- ・ソーラーベロタクシー
- ・Living Design 12th FASHION SHOW
- ・市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾
- ・Oumi Food Project
- ・エコキャンパスプロジェクト
- ・エコキャンパスプロジェクト木楽部会
- ・彦根人力舎一彦根地場産業発信計画
- ・稲枝 cotton project
- ・信・楽・人-shigaraki field gallery project
- ・とよさと快蔵プロジェクト
- ・限界集落の村おこし
- ・いかして民家？
- ・発信基地 in 朽木の森
- ・Taga-Town-Project+
- ・ART FORUM 2008ーヴォーリスを探そうー
- ・「もったいない帳」を用いたスローライフプロジェクト
- ・八日市屋台プロジェクト(プロジェクトYY)
- ・Let's 複合

【選定委員】(順不同、敬称略)

- ・滋賀県立大学理事(教育担当) 土屋正春
- ・滋賀県立大学人間文化学部教授 濱崎一志
(近江楽座専門委員会委員長)
- ・滋賀県立大学人間文化学部准教授 森川稔
(近江環地域再生学座担当)
- ・マキノまちづくりネットワークセンター 藤原久代
(近江環2期生)
- ・犬上川を豊かにする会 佐々木和之(滋賀県立大学OB)

▼ 楽座文庫ができました

大学図書情報センター2回エントランスを入ってすぐの場所に、これまでのプロジェクトの成果物を取りそろえた「楽座コーナー(通称：楽座文庫)」ができました。近江楽座の成果物ほか、各プロジェクトが作成した報告書や冊子、チラシなどを取り揃えています。図書情報センターに行ったら、ぜひ足を運んでみてください！

▼2007年度報告書を作成しました

近江楽座2007年度活動報告書を作成しました。Aプロジェクト18チームBプロジェクト21チームのそれぞれ個性あふれる活動報告ページ他、近江楽座の2007年度の歩みが数多くの写真とともに掲載されています。A4・130ページ。近江楽座事務局(大学交流センター内)にて無料で配布中です。部数に限りがありますので、早めにお問い合わせください。

▼ 後期よりスタート「地元学入門」

近江楽座の活動が、後期から新設される人間学「地元学入門／学生力をいかした地域活動基礎講座」としてフューチャーされることになりました。

この講義は、伝統的街並みの再生・活用、地域文化の保全継承、農村コミュニティの活性化、地域医療のサポート、地域リーダーの育成など、社会が直面する地域課題に対して、地域との連携を図りながら提案、解決していくために必要な能力や方法論を「近江楽座」(学勢力をいかした地域貢献活動)の取り組み事例をとおして実践的(Project Based Learning)にマスターすることを目的として開催されます。

毎回、近江楽座で活動する学生チームのメンバーや指導教員をゲストスピーカーとして招き、「近江楽座」による学生主体の地域貢献活動をとおして、プロジェクトの提案、運営、解決のための方法論を学び、地域や企業の中でリーダーとして行動するための基礎的能力を磨いていきます。ぜひご期待ください！

■ 今月の楽座

5月の近江楽座の主な活動予定です。

- ◎5/24 Aプロジェクト公開プレゼンテーション
- ◎5/28 選定結果発表

【編集後記】

近江楽座2007年度も無事終わり、とにかくほっとしています。このニューズレターも、当初の目標どおりなんとかほぼ毎月発行することができました(泣) 毎月何を書こうか迷っていた編集後記…。新年度第一号の発行に向けて、今からネタ探しをしておかなくては…。とにかくにも、2007年度近江楽座に関わってくれた学生のみなさん、地域の皆さん、ありがとうございました！2008年度もどうぞよろしくお願いいたします。(みた)



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおり、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

● 2008 年度活動プロジェクト決定！

いよいよ、2008 年度の近江楽座がスタートしました。今年は、学生主体の A プロジェクト 20 件、地域からの課題に取り組む B プロジェクトが 3 件、合計 23 のプロジェクトが、近江楽座として活動します。5 年目となり、ますますパワーアップした近江楽座にご期待ください！

▼A プロジェクトとは…

A

A プロジェクトは、「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を支援するものです。プロジェクトは、昨年度までの継続活動を対象とした「継続」、新規活動を対象とした「新規」という二つの区分を設けて募集され、公開プレゼンテーション及び審査を経て選ばれます。

▼2008 年度 A プロジェクト

今年度は、新規 5 チームを含む 20 プロジェクトでの活動スタートです。今年度も 4 つ学部からそれぞれからの特性を活かしたプロジェクトの応募があり、中には 5 年連続で採択されたベテランチームも。このニューズレターでも、次号より「Pick Up」のコーナーにて、各プロジェクトの横顔を紹介していく予定です。

2008 年度 A プロジェクト一覧 (□は新規プロジェクト)

プロジェクト	チーム
■いかして民家？	古民家楽座
□稲枝 Cotton Project	Cotton Project
■犬上川竹林プロジェクト	エコキャンパスプロジェクト
■エコキャンパスプロジェクト	エコキャンパスプロジェクト
木楽部会	木楽部会
□近江中山道百彩プロジェクト	百彩
■Oumi Food Project	Oumi Food Project
■限界集落の村おこし	男鬼楽座
■信・楽・人・field gallery project	信・楽・人・field gallery project
■市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾	未来看護塾
■障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト	ボランティアサークル Harmony
□ソーラーベロタクシー	ソーラーハンター
■Taga-Town-Project	Taga-Town-Project
■とよさと快蔵プロジェクト	とよさと快蔵プロジェクト
■菜の花エネルギー	菜の花エネルギー
■発信基地 in 朽木の森	くつきチーム
□彦根人カ舎	リキシャ
一彦根地場産業発信計画一	
□「もったいない帳」を用いたスローライフプロジェクト	もったいないプロジェクト
■八日市屋台プロジェクト (プロジェクト YY)	わいわい楽座
■Living Design 12th FASHION SHOW	Living Design 12th
■Let's 複合	廃棄物バスターズ

▼B プロジェクトとは…

自治体や企業等から提示された課題について、「近江楽座」として取り組むテーマを設定し、学生主体のプロジェクトチームより企画提案を求めます (プロポーザル方式)。審査により採択されたチームは、指導教員、地域づくり教育研究センターとともに、外部資金を活用しながらプロジェクトを推進します。

B

▼2008 年度 B プロジェクト

今年度は、滋賀県と高島市からによる 2 つの提案に対し、公募・審査により採択された 2 チームと、昨年度より継続の 1 チームの合計 3 チームがとくくみず。6/26 に行われた審査会では、それぞれのプレゼンに対して、選定委員による熱のこもった質疑応答が行われました。

◎テーマ 1:「湖北地域の古民家で田舎暮らしをするための移住などを支援する活動」(滋賀県)

チーム: 長浜楽座 (古民家での田舎暮らし体験プログラムの企画、実施)、木之本楽座※ (空き民家の調査・活用と都市農村交流事業の企画・実施) ※昨年度より継続

◎テーマ 2:「高島市における若者が輝くまちづくり調査活動」(高島市)

チーム: Area + Design (高島における若者の生活スタイルに関する調査および発信活動一)

● ドキドキの公開プレゼンレポート

5/19 (土)、大学交流センター研修室にて、応募のあった 22 チームによる、2008 年度近江楽座 A プロジェクトの公開プレゼンテーション並びに審査会が行われました。当日は、学外も含め 76 名の参加者があり、それぞれ個性あふれる各プロジェクトのプレゼンテーションに熱心に耳を傾けました。

今年度のプロジェクトが決定するこの公開プレゼンテーションは、チームにとっても、いわば最初の山場。5 月上旬の申請書の作成・提出を経て、この日のためにそれぞれ入念に準備を重ね、本番を迎えます。(中には、地域の関係者の前でプレゼンの練習をしてきたというチームも！)



プレゼンテーションでの各チーム持ち時間は、5 分の発表、質疑応答 3 分の計 8 分。限られたこの短い時間の中で、自分たちの思いや活動内容を出し切らなければなりません。それぞれの発表から、真剣な思いと緊張感が伝わってきます。初めてのプレゼンに声を震わせがんばっている学生もいれば、笑いを交えてちょっぴり余裕の学生もいたり、学生個性も光ります。20 を越えるプロジェクトを審査する選定委員も、真剣なまなざしで、申請書を片手にプレゼンに聞き入ります。質疑応答では、選定委員からのキビシイ突っ込みにも、おもわずたじろいでしまう場面も…。また、選定委員からの専門的な視点でのアドバイスに、会場にいた他のプロジェクトの学生もメモをとるなど、このプレゼンテーション自体が、学生たちにとっては様々な意味でよい刺激になったようです。

こうして、2008 年度近江楽座は、長い長い 1 日と共に幕を開けたのでした。晴れて今年度近江楽座に選ばれたチームのみなさん、初心を忘れずに、一年間がんばりましょう！

近江楽座って何？

“スチューデントファーム「近江楽座」／まち・むら・くらしふれあい工舎”は、「地域貢献」を目的とした滋賀県立大学オリジナルの「教育プログラム」です。地域を対象とする大学の演習、フィールドワーク等のカリキュラムや教員、学生の地域を対象とする研究活動など、「地域活性化」に寄与するプロジェクトを募集、選定し、全学的に支援しています。

■ TEAM NEWS

● たけのこ堀を満喫！【エコキャンパスプロジェクト】



6/6(日)と15(日)の2日にわたり、彦根市の大学近くにある犬上川の河辺林にて、たけのこ堀のイベントを開催しました。6日は、10名の参加者があり、今が旬のたけのこ堀を楽しみました。

心地よい汗を流した後は、お待ちかねの試食タイム。掘りたてのたけのこを使って作った、おいしいたけのこ飯や筑前煮に、みんなで舌鼓を打ちました。ラジオを聞いて来てくれたという主婦の方からは、「楽しかった。来年はぜひ友人を連れてきたい」とうれしい感想をいただきました。

また、15日には、竹林プロジェクトのメンバー2人という少人数でしたが、第2段を決行。この日掘ったたけのこは、なんと80本！さすがに2人では食べることができないと、近くの庄堺公園に来ておられた家族連れや、犬上川で釣りをしていた方にプレゼントしました。掘りたてとあってみなさんに大好評で、中には「貰えるだけ貰いたい」という欲張りな方も…(笑)。次回は、ぜひたけのこ堀への参加を、お待ちしております~(^)/

● 国内初！BDF100%列車【葉の花エネルギー】

家庭の天ぷら油などからバイオディーゼル燃料(BDF)を精製する事業に取り組む兵庫県加西市と第三セクター北条鉄道。両者が取り組む、BDF100%の燃料による列車の試験運行を前に、葉の花エネルギーが「エンジン稼働実験」に協力しました。



6/14(土)、同県加西市にて行われた稼働実験には、メンバー4名が参加。持参した簡易測定器を用いて、BDFと軽油を使った場合の、それぞれの排ガスの成分を測定しました。燃えやすいBDFは一酸化炭素の量が少なくなると予想されていましたが、実際には、軽油よりも多いという結果に。BDFの粘性による不完全燃焼が一因ではないかと考えられるため、今後もBDFの性質や成分の調査を任されることになりました。予想に反した結果に、我々メンバーも戸惑ってしまいましたが、理論だけではなく、実際に現場に赴き測定することの大切さを身をもって感じる事ができました。

なお、滋賀県内では、フォークリフトにBDF100%を使用している企業があるものの、全国的に、また公共交通機関での使用としては、今回が初の試み。成功すれば、イベント列車の検討も始め、二酸化炭素の排出削減と環境保全に貢献する鉄道として全国にPRすることです。

■ チーム伝言板

【Oumi Food Project】オリジナル和菓子の“新食材”を募集！

Oumi Food Projectは、食生活を専攻する学生らが中心となり、「食」という観点から彦根市を元気にするための活動を行っています。今年度は、「オリジナル和菓子」の創作に取り組むことになりました。私たちが目指すのは、野菜や果物の自然な色・甘さを最大限に活かした、「人にも環境にも優しい」和菓子。また、用いる食材は滋賀県内で採れたものに限定し、「地産地消」を推進したいと考えています。さらに、捨てるにはもったいないおからなどの食材の活用についても、試行錯誤しています。みなさんの地元の名産や食材の組み合わせなど、面白いアイデアがあれば、ぜひOumi Food Projectまでお寄せください。■問い合わせ／TEL：090-8527-680(青木)／E-mail：oumi_f0u0d_project@yahoo.co.jp ■URL：http://syokunomise.jyokamachi.com/

【エコキャンパスプロジェクト】竹炭作り&竹の伐採参加者募集！

エコキャンパスプロジェクトは、「犬上川竹林プロジェクト」と題し、大学の北東部を流れる犬上川の河辺林を、地域住民と協力しながら継続的に維持・管理していくことを目的として活動しています。現在、一緒に活動してくれるメンバーを募集中！毎月第3土曜日に、竹の伐採や、倒れた竹を使っての竹炭づくなど、様々な竹林整備活動を行っています。場所は、市民病院～庄堺公園付近の犬上川付近の竹林です、興味のある方はぜひ御一報下さい。HPもありますので、ぜひご覧ください☆■問い合わせ／TEL：080-3115-1254(井上)もしくは080-6168-3220(石丸) ■URL：http://www.fya.jp/~eco_campus/index.html



■ 事務局だより

▼毎月20日は“近江楽座交流会”の日！

昨年度より、毎月20日にプロジェクトの「交流会」を開催しています。これは、近江楽座のOB・OGらにより構成される「近江楽座学生委員会」主催のイベントで、普段はなかなか顔を合わせることが少ないチーム同士の、数少ない交流の場となっています。6/20には、今年度第一回目の交流会が開かれ、学生委員会の船田くんによる手作りの夏野菜カレー(美味！)を囲んで、みんなでわいわいおしゃべりしました。もちろん、チームメンバーだけではなく、近江楽座に興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。詳しくは、近江楽座事務局までお問い合わせください。

▼楽座ホームページが生まれ変わります！

各プロジェクトの活動やmイベント情報などをお知らせしている近江楽座ホームページが、この夏新しくリニューアルします。どうぞ、お楽しみに♪

<http://ohmirakuza.net/>

▼メールアドレス変更のお知らせ

近江楽座のメールアドレスが、今年度より下記に変更になりました。近江楽座のこと、プロジェクトのことなど、お気軽にお問い合わせください。

info@ohmirakuza.net

■ 今月の楽座

7月の主な活動予定です。(●参加者募集)

- 「八幡堀」石垣継続調査、「辻番所」実測調査・庭の発掘調査【いかして民家？】
- 民具作り・修繕【稲枝 Cotton Project】
- たけのこクラブ(七夕祭りの飾りづくり)【犬上川竹林プロジェクト】
- 「もくれん」整備、道具のメンテナンス勉強会【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】
- 百彩in高宮地元説明会【近江中山道百彩プロジェクト】
- 地域住民のニーズ調査、新作和菓子の企画【Oumi Food Project】
- 書き替えイベント(20日予定)【限界集落の村おこし】
- shiroiro-ie 庭作業、shiroiro-ie 改装記録集作成【信・楽・人-field gallery project】
- 長寿会などでの健康支援活動【未来看護塾】
- 定例活動【障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト】
- ソーラーペロの設計図作成など【ソーラーペロタクシー】
- 辻長の改修【とよさと快蔵プロジェクト】
- 菜種の搾油【葉の花エネルギー】
- 聞き取り調査(21日)【発信基地in朽木の森】
- 「もったいない帳」システム作成【「もったいない帳」を用いたスローライフプロジェクト】
- 服の製作など【Living Design 12th FASHION SHOW】
- 小学校へプラント配布、環境授業【Let's 複合】

【編集後記】

今年も引き続き、ニューズレターを担当することになりました。毎月発行を目標に、取材や編集がんばります！新たなコーナーも現在企画中☆耳より情報、おもしろい情報などがありましたら、ぜひお寄せください。(みた)



ohmi-rakuza.net

2008.8.1 vol.13

近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

●「近江楽座のススメ」完成間近！

近江楽座本が誕生して今年で5年。これまでの近江楽座の歩みを、笑いあり、涙ありでつづった、近江楽座初めてとなる“本”がもうすぐ完成します。

50 を越えるチームの活動の中から選んだ、12 チームのSTORYを通して、地域活動に果敢に挑戦し、悩み、考え、成長していく学生たちのありのままの姿を伝えます。「なぜ近江楽座はこんなに注目されているの？」「どうして近江楽座は継続しているの？」この本には、学生の地域活動のヒントがたくさん詰まっています。汗と涙の詰まった、近江楽座4年間の軌跡をぜひお楽しみに♪

10月の完成に向けて、ただいま編集作業もラストスパート。ただいま、予約を受け付けています。A5判、定価：2,000円（予定）。詳細は事務局までお問い合わせください。

「近江楽座のススメ-学生力で地域が変わる（仮題）」

目次

□序章

□第1章 学生力

Project Story01~12

（とよさと快蔵プロジェクト、男鬼楽座、エコキャンパスプロジェクト木楽部会、廃棄物バスターズ、エコキャンパスプロジェクト、古民家楽座、菜の花エネルギー、くつきチーム、TTP+、未来看護塾、C3、リバーウォッチング in 安曇川）

□第2章 成長

地域活動をとおして悩み、考え、克服し、成長した学生たちの断片的記録

□第3章 発信

学生力の発信記録

□第4章 継続

学生力を継続させるために

□Data で見る Ohmi-rakuza

□Rakuza People



●活動紹介冊子ができました

2008年度近江楽座に採択されたAプロジェクト20チームと、Bプロジェクト3チームの計23チームの今年度の活動内容が写真入りで紹介されている「活動紹介冊子」ができあがりました。今年も、制作は近江楽座学生委員会による力作です。A5判・カラー。交流センターにて無料で配布しています。詳細は近江楽座事務局までお問い合わせください。

●ホームページがリニューアルオープン！

7月より工事中だった近江楽座のオフィシャルサイトが、リニューアルしてオープンしました。トップページに写真が増え、より賑やかになっています。各プロジェクトのイベント情報や、事務局からの耳寄り情報が満載です。アクセスしてください^^

<http://ohmirakuza.net/>

●リアルタイムな情報はこちらから

上記の近江楽座のサイトに加え、それぞれオリジナルのホームページやブログを開設しているプロジェクトがあります。日々の活動日記など、リアルな様子が覗けるかも！？

■エコキャンパスプロジェクト（竹林プロジェクト）

<http://www.shc.usp.ac.jp/ecocampus/index.htm>

■エコキャンパスプロジェクト木楽部会

<http://plaza.rakuten.co.jp/kirakuokiraku/>

■百彩

<http://hyakusa08.shiga-saku.net/>

■Oumi Food Project

<http://syokunomise.jyokamachi.com/>

■男鬼楽座

<http://www.shc.usp.ac.jp/hamazaki/oori.html>

■信・楽・人-field gallery project

<http://sigarakipr.exblog.jp/>

■ソーラーベロタクシー

<http://www.mat.usp.ac.jp/materials-evaluation/solar-v.htm>

■Taga-Town-Project

<http://ttp.cho-chin.com/>

■とよさと快蔵プロジェクト

<http://toyotoyo.wablog.com/>

■彦根人力舎-彦根地場産業発信計画-

<http://rikiseri.exblog.jp/>

■もったいないプロジェクト

<http://mottainai.shiga-saku.net/>

■ TEAM NEWS

●雑誌に掲載されました【信・楽・人】

7/1発売の、若者向け京阪神情報雑誌「SAVVY 2008年9月号」にて、昨年信・楽・人が改装したギャラリーshiroiro-ieが掲載されました。

shiroiro-ieは、信楽にある古民家をまちづくりの拠点としたという地元の窯元さんの依頼を受け、信楽人のメンバーらが昨年1年間をかけて、ギャラリーに改装してきたもので、2008

年3月にオープンしたばかり。SAVVYでは、「のんびり、気ままに 電車の旅」という特集の中で「今年オープン、1軒家の器ギャラリー」という見出しで、2pにわたってとりあげられています（もちろんフルカラー♪）。若手作家の意欲的な作品を展示する空間や、それらの関連イベント、ワークショップを行う場として、これからますますshiroiro-ieが注目される予感。本屋で見つけたら、ぜひ手にとってご覧くださいね～！8月は、庭の改装作業、9月は展示会・イベントの準備をしています。飛び入り手伝い大歓迎！

■URL（shiroiro-ie）：<http://www.shiroiro-ie.com/>

■ PICK UP

◆稲枝 cotton project by Cotton Project

彦根市稲枝町本庄地域の綿花栽培は、現在、後継者不足や資金不足など様々な課題を抱えています。本プロジェクトでは、地元住民や「みずの郷いなか体験さわ」と連携しながら、若い労働力と染織の学術・技術的な知識といった専門性を活かし、綿花栽培の復興を支援します。活動の初年度となる今年度は、放置田畑を利用した綿花の栽培や糸作り、染色などの取り組み

近江楽座の活動プロジェクトを、毎号数チームずつ紹介する「Pick Up」。第一弾は、今年度デビューした5つのニューフェイスをご紹介します。

を通じて、自然素材の製造過程や先人達の知恵や手作業を学びます。また、それらの各作業を地元小学生の体験学習講座として実施し、地域に根ざした綿花栽培の技術と文化を未来に伝えることを目指します。



◆近江中山道百彩プロジェクト by 百彩

地域住民がそれぞれの家の軒先に赤いものを飾り、町の色付けを行う「百彩」。2005年度より、中山道宿場町に暮らす地域住民の街並みへの意識付けや、地域の主体性の確立などを目的として、彦根市高宮地区で継続して実施してきました。(*)今年度は、ややマンネリ化しつつある現状を打破するべく、メインとなる町の色付けに加え、写真展の開催などの新たな試みにチャレンジします。また、同地区でのこれまでの実績や経験を活かしながら、新たに鳥居本地区での開催を企画し、点から線へと、中山道宿場町全体の地域活性化へとつなげるための第一歩を踏み出します。
*2005~2007年度は、「C3」が開催。



◆ソーラーベロタクシー by ソーラーハンター

2007年より彦根市内で運行されている自転車タクシー。主に人力によって動くこの「ベロタクシー」には、坂道などのために電動アシストシステムが搭載されています。私たちは、二酸化炭素(CO2)を出さない環境にやさしい太陽電池を使って、その充電を行う「ソーラーベロタクシー」を開発し、それを普及させることを目的として活動します。初年度となる今年度は、主にベロタクシーへの太陽電池の設置とともに、電力やCO2の削減量の測定と検証を行います。こうした活動を通じて、環境に調和したエネルギー源である太陽電池についてアピールし、エネルギー環境問題への関心を高めていきます。



◆彦根人力舎ー彦根地場産業発信計画ー by リキシャ

彦根市には、古くから仏壇製作や縫製などの地場産業が存在しているものの、現代の日常生活ではそれらと触れ合う機会がほとんどありません。私たちは、これらの地場産業に対する認知度・親近感を高め、彦根の地域ブランド形成をバックアップすることを目的として活動します。活動の初年度となる2008年度は、仏壇産業と繊維産業の技術を応用しながら、自転車生活をすすめる会が取り組む「彦根力車開発プロジェクト」で製作された「自転車力車」の改良に取り組みます。さらに、これらのイメージ調査を行いながら、デザインの分野から、「地場産業に対する認知度・親近感の向上」を探っていきます。



◆「もったいない帳」を用いたスローライフプロジェクト by もったいないプロジェクト

私たちの日々の生活にあふれる「もったいない」。私たちは、環境家計簿や彦根市が提唱する環境チェックシートに代わり、誰もがより簡単に取り組むことができる「もったいない帳」を用いて、環境負荷の低い生活環境の形成を目指して活動します。彦根城などの歴史的資源や琵琶湖などの自然環境、彦根市のリサイクル状況などに対する市民の日々の「もったいない」を調査・分析することにより、彦根市の地域特性を活かした、彦根市ならではのエコライフスタイルを提唱します。こうした地域特性に応じた生活の見直しの積み重ねにより、新たな環境文化を創出し、将来的な視点での地域活性化へとつなげていきます。



■ チーム伝言板

【百彩】中山道が真っ赤に染まる! 「百彩 in 高宮 2008」

8/9、10の2日間に渡り、中山道高宮宿でまち並みを真っ赤に染める景観づくりイベント「百彩 in 高宮 2008」を開催します。これは、高宮町の住民と滋賀県立大学の学生が協力して、街道沿いの各家に思い思いに赤い物を飾り付け、街道を真っ赤に染めてしまおうという壮大なプロジェクトです。4年目となる今年度は、スペシャルゲスト「赤い動物たち」が登場!中山道を様々な「赤」でつなぎ、町を華やかに演出します。歴史ある町並みの、いつもとひと味違った景色を楽しんでみませんか。※当日は、2008 サマーフェスティバル in たかみや(中山道高宮宿夏祭り)を開催しています。■日時:8月9日(土)・10日(日) 10:00~18:00 ■場所:彦根市高宮町(無貨橋~大北交差点、ふれあいの館前~高宮小学校前(近江鉄道高宮駅より徒歩6分) ■主催:高宮サマーフェスティバル実行委員会、協力:高宮連合自治会・滋賀県立大学近藤研究室 ■問い合わせ:大学環境科学部近藤研究室(担当:松尾) / TEL:090-8210-4803 / E-mail: libra860930@gmail.co.jp / URL: http://hyakusa08.shiga-saku.net/

【百彩】「百彩 in 高宮 2008」スタッフ募集!

上記「百彩 in 高宮 2008」のスタッフを募集します!詳しくは、下記まで気軽にお問い合わせください。■日時:年8月9日(土)・10日(日) 8:30~18:30(部分的な参加も可。要相談) ■賃金など:謝金:約4000円、夏祭り出店チケット1,000円分(10日のみ)。交通費無 ■募集人数:6人 ■仕事内容:町の電柱に巻く赤い布、町に飾る赤い動物の設置と回収、地域住民が展示した赤い物の管理など。10日はスタンプラリーの立ち番も有。■その他:当日はなるべく赤い服装で来て下さい! ■問い合わせ:大学環境科学部近藤研究室(担当:松尾) / TEL:090-8210-4803 / E-mail: k09082104803@ezweb.ne.jp

【もったいないプロジェクト】あなたのもったいないを教えてください!

電気や水のつけっぱなしや出しっぱなし、スーパーのレジ袋、トイレトペーパーの無駄遣い...みなさんも、毎日の生活の中で「もったいない」と感じたことはありませんか?そんな日々の「もったいない」からエコノミーでエコロジな生活のヒントを探る「もったいないプロジェクト」が、いよいよスタートします。そこで、普段の生活にあふれる「もったいないの収集」に協力してくださる方を募集しています。やることは簡単!「もったいない帳」という小さな記録用紙に、「もったいない」と思ったことを、書き残していくだけです。小学4年生以上なら誰でも参加OK。あなたもこの「もったいない」運動に参加して、身近なエコライフについて考えてみませんか。たくさんの方のご協力をお待ちしています。■内容:もったいない帳の記録(8月と9月に各々1週間ほ

ど) ※詳細は折り返し連絡します ■申し込み方法:協力いただける方は、①記録参加者氏名、②住所、③電話連絡先を明記の上、下記までメールまたはファックスにてご連絡ください。 ■申し込み・問い合わせ/もったいないプロジェクト(担当:中小田) TEL・FAX:0749-28-8570 / E-mail: zi13tnakaoda@ec.usp.ac.jp ■URL: http://mottainai.shiga-saku.net/

■ 今月の楽座

7月の近江楽座の主な活動予定です。
(●は、一般参加者募集中)

- 「旧村岸邸」民具調査・整備、「一圃邸」実測調査【いかして民家?】
- 畑しごと【稲枝 Cotton Project】
- 土壁塗りワークショップ【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】
- 百彩 in 高宮【近江中山道百彩プロジェクト】
- 地域住民のニーズ調査、新作和菓子の企画【Oumi Food Project】
- 長寿会などでの健康支援活動【未来看護塾】
- お泊り会(9.10日)【障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト】
- 電気機器の取り付け【ソーラーベロタクシー】
- 万灯祭(3,4,5日)、【Taga-Town-Project】
- とっと祭り(10日)、どろんこまつり in 吉田(31日)【とよさと快哉プロジェクト】
- コトナリエ(9~16日)、高大連携授業(19~20日)【菜の花エネルギー】
- 聞き取り調査【発信基地 in 朽木の森】
- リキシャ試作品検討、試乗会【彦根人力舎ー彦根地場産業発信計画ー】
- 「もったいない帳」記録者募集(1日~)、記録の収集【「もったいない帳」を用いたスローライフプロジェクト】
- 街マップの公開【八日市屋台プロジェクト】
- 第1回ワークショップ、彦根ばやし総おどりへの参加【Living Design 12th FASHION SHOW】

【編集後記】

いよいよ8月から夏休み!各プロジェクトのイベントも盛たくさんです。私は、10月の出版にむけて、本の編集作業がラストスパート。果たして夏休みはあるのか!? (みた)



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

●スキルアップ講座の参加者募集！

地域活動をさらにパワーアップすることを目的に、10月から近江楽座「地域活動スキルアップ講座」が始まります。今年度のテーマは「伝える」。活動をアピールしたり、情報を発信したりと、様々な「伝える」を学んでみませんか？講師は、県内外で活動する「伝える」エキスパートたち。実践形式で、楽しく学びながら、スキルアップしましょう。■日時・内容：下記参照■場所：滋賀県立大学交流センター研修室■受講料：無料■対象：近江楽座プロジェクトメンバー、一般■定員：各回 20名（先着順）■申し込み方法：各回の2週間前までに、メールか電話かFAXにて、「①お名前」、「②ご所属」、「③お電話番号」、「④メールアドレス」、「⑤受講希望テーマ」、「⑥交流会参加の有無」をお知らせください。（複数回まとめての申し込みも可）折り返し、こちらから申し込み受付の連絡有。■問い合わせ・申し込み：近江楽座事務局（連絡先は右上部に掲載。）

●第1回 ビジュアルで伝える

- テーマ：上手な活動写真の撮り方とは？
- 日時：10/20（月）18：00～20：00
- 講師：長岡野亜さん（ドキュメンタリー映画監督・写真家）
- 内容：普段何気なく撮っている活動写真も、ちょっとした工夫でぐっと伝わるビジュアルに！実践形式で、上手な活動写真の撮り方を学びます。※各自デジタルカメラを持参してください。（持っていない場合は要相談）

●第2回 何を伝える？どうやって伝える？

- テーマ：広報戦略を考える
- 日時：11/20（木）18：00～20：00
- 講師：芝原浩美さん(NPO 法人ユースビジョン理事・事務局長)
- 内容：広報って何？なぜ広報は必要なの？簡単なワークショップを交えながら、自分たちの活動を伝えるための具体的な広報戦略を考えてみましょう。

●第3回 メディアから伝える

- テーマ：メディアを上手に利用する
- 日時：12/19（金）18：00～20：00
- 講師：木村愛子さん（フリーライター／元朝日新聞あいあい AI 滋賀編集室）
- 内容：新聞などで自分たちの活動を紹介してもらったことはありますか？新聞記者の視点から、活動をメディアにとりあげてもらうためのちょっとした“コツ”を学びます。

■ TEAM NEWS

●希望が丘で“木の恐竜”作り【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】

8/4～7に、竜王町にある希望が丘文化公園で開催された「みんなで作るキッズ彫刻 in 希望が丘」に、ボランティアスタッフとして参加しました。炎天下の中、小中学生の参加者と力を合わせ、間伐材で作り上げたのは、人間の身長を越すほど巨大な“恐竜”！心地よい汗と達成感に包まれながら、最後は完成した恐竜の前でみんなで記念写真を撮りました。



●コトナリエに参加【菜の花エネルギー】

8/9～16の1週間、東近江市で開催されたコトナリエに、今年も参加しました。菜の花エネルギーは、電気をつくる大変さを知ってもらうために、足こぎ発電機を自作展示し、またブースでは BDF の製造ビデオを流し、自分たちの活動に関するパ



ネルを展示しました。足こぎ発電機は、自転車、自動車用発電機、インバーターなどを用いて製作しました。足こぎ発電は、自転車をこいでいる間のみ発電する仕組みで、参加者がその場で発電した電気で、会場を彩るイルミネーションを点灯しました。来場者には家族連れが多く、大人の自転車にもかかわらず、たくさんの子供達が果敢にチャレンジしていました。今回、コトナリエの参加により、東近江市の方々や、来場者の方々と交流を深めるとともに、“電気を生み出す”大変さを知ってもらうことができました。

●どろんこまつり【とよさと快蔵プロジェクト】

8/31 豊郷町吉田の休耕田で「どろんこまつり IN とよさと」を開催しました。心配していた天気も嘘のような照り付ける太陽の下、早速どろんこバレーの開始です。始めはみんなどろ

んこになるのを躊躇していたものの、一度汚れてしまえばそんなの関係なし。熱い応援を受け、年齢や性別は関係なく、みんな頭から足の先までどろどろになりながらダイブしています。熱戦を制したのは、地元商工会青年部でした。続いての「どろんこ二人三脚」と、「どろんこフック」では、なんととよさと快蔵プロジェクトのメンバーが優勝！その他、子ども向けのどろんこ宝探しやバザーも大好評でした。参加者も主催者も真っ黒になりながら、夏休み最後の日を満喫したのでした。

●テレビコマーシャルに登場【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】

なんと、エコキャンパスプロジェクト木楽部会が、テレビコマーシャルに出演しました！これは、宝くじ収益金により作られた施設を紹介することを目的に、昨年9月に本学で撮影されたものです。収録当日には、木楽部会自らが手がけた造形活動拠点施設「もくれん」での活動や、当時の代表の芹田くんを始めとしたメンバーらが緊張の面持ちで本番に挑みました。収録から一年後、9/4の夜、たった一度きりの放映だったこのコマーシャル、運良く見る事ができたあなたは、ラッキーかも！？

●和綿の収穫が最盛期を迎えました【Cotton Project】

9/16に、春から栽培に取り組んできた日本古来の在来種である和綿の収穫祭を行いました。台風の前でしたが当日はきれいに晴れて、かごに山盛りの綿を収穫することができました。収穫したての綿は水分を含んでしっとりしています。それらを乾燥させてから綿打ちし、糸に紡いでいきます。収穫は10月初旬まで続き、その頃には洋綿も収穫できるようになる予定です。

●リサイクルプランターが、ついにエコマークの認定を取得！【廃棄物バスターズ】

廃棄物バスターズが県内企業さん、滋賀県と共同で開発し、昨年より販売を開始した“リサイクルプランター”が財団法人日本環境協会よりエコマーク(*)商品として認定されました。

今後は、グリーン購入法 特定調達品目の一つとして更なる普及と環境意識の向上と環境教育に役立てるべく活動を行っていきます。

(*)エコマークとは、環境保全に役立つと認められた商品に付けられ、“環境にやさしい暮らし”を願う人たちが、商品を選択しやすくなることを目的としています。厳しい審査基準をクリアした商品にだけ付けられる環境のブランドマークです（財団法人日本環境協会 HP より）

PICK UP

◆いかして民家

私たちは、彦根市及び近江八幡市を中心に、古民家などの地域の伝統的建造物を再評価すると共に、それらを活用した地域活性化の手法を探ることを目的として活動します。2008年度は、昨年に引き続き、存続の危機に瀕している伝統的建造物の実測調査基礎資料の収集や、伝統的建造物の整備に取り組みます。また、伝統的建造物の公開イベントの実施やホームページでの情報の発信を通じて、より多くの人々に、「古民家の再生」について理解を深めてもらいたいと思っています。さらに、それらのイベント参加者や地域住民に対する意識調査など踏まえ、住民参加による伝統建造物の活用について模索していきます。

by 古民家楽座



近江楽座の活動プロジェクトを、毎号数チームずつ紹介します。

◆エコキャンパスプロジェクト木楽部会 by エコキャンパスプロジェクト木楽部会

私たちは、木などの自然素材を使ったものづくりを通じ、ものを作る楽しさや難しさ、大切さを学ぶと同時に、地元産の間伐材等の積極的な活用について模索することを目的に活動しています。活動5年目となった今年度は、造形活動拠点である木工作業施設「もくれん」を拠点に、自然素材を使った家具や小物「木楽ブランド」の製作・展示に取り組みます。また、新たに、木工教室や近江八幡での出張ワークショップを企画・実施し、これまでの活動を広く地域へ展開していきます。年代や性別を問わず誰もが気軽に楽しめる木工作業を通じて、地産池消への理解を含め、環境への意識の向上を目指します。プロジェクト HP: <http://plaza.rakuten.co.jp/kirakuokiraku>



◆犬上川竹林プロジェクト

by エコキャンパスプロジェクト

私たちは、大学の北東部を流れる犬上川の河辺林を、地域住民と協力しながら継続的に維持・管理していくことを目的として活動しています。これまで4年間の活動の成果として、景観や防災的にも問題のあった竹藪を、明るく親しみやすい環境へと改善することができました。今年度は、これまでの定期的な竹林整備活動や竹炭づくり、河辺林の生物調査などに加え、病院や学校など地域住民を対象に、竹や自然と親しむことを目的とした体験イベントや交流会を行います。これらを通じて、自然素材としての竹の素晴らしさを伝えとともに、地域住民の自主的な河辺林整備を促進します。

プロジェクト HP: <http://www.shc.usp.ac.jp/ecocampus/index>



◆Oumi Food Project

by Oumi Food Project

本プロジェクトは、食生活を専攻する学生らが中心となり、「食」という観点から彦根市を元気にするための活動を行っています。発足一年目であった2007年度は、地元産の食材を使った「近江牛バーガー」の商品開発と屋台販売を中心に活動しました。今年度は、彦根市内の橋本商店街にある「いこう館」を活動拠点とし、これまで調理・加工過程で廃棄されていた食材や、地元産の食材を使ったオリジナル和菓子の開発や、料理教室や講演会などの食育活動に取り組みます。学生ならではの視点と専門性を活かし、「食」を通じて、学生と地域、地域住民同士をつなぐ「いこいの場」を提供します。プロジェクト HP: <http://syokunomise.jyokamachi.com/>



チーム伝言板

【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】木のワークショップを開催します！

エコキャンパスプロジェクト木楽部会では、10/26(日)に2つの木工ワークショップを行います。ぜひたくさんのご参加をお待ちしています♪

●「城西小ふれあいまつり小学生木工教室」

小学生を対象とした簡単な木工教室を行います。材料は木楽部会のこれまでの活動からたてた端材を使います。木工をしたことがない子はノコギリなどの道具体験を、上級生は簡単なものづくりをしてみましょう。■日時: 10/26(日) 10:30~13:00 ■場所: 彦根市立城西小学校(彦根市本町 3-3-22) ■対象: 小学生、低学年や親子での参加もOK。■定員: なし ■参加費: 50円 ■申し込み: 不要。■問い合わせ: エコキャンパスプロジェクト木楽部会(田口) / E-mail: kiraku_o_kiraku@yahoo.co.jp

●「小舟木エコ村まちなみ記念 木工ワークショップ」

小舟木エコ村のまちなみを記念したイベントで、建築端材や地元信楽の山の間伐材を使ったワークショップを開催します。材料の木と竹についてパネル展示や、木・竹を使っての工作などを行います。大人も子どもも楽しめるイベントです。■日時: 10/26(日) 13:00~16:00 ■場所: 小舟木エコ村センターエリア付近(近江八幡市桜宮町 290) ■対象: エコ村入居予定者(検討者)、その他誰でも ■定員: なし ■参加費: 無料(物品販売は別) ■申し込み: 不要 ■主催: 小舟木エコ村推進協議会(木楽部会のメンバーが、ワークショップの運営をサポートします) ■協力: 八幡山の景観を良くする会、近江八幡酒蔵工房 ■その他: 汚れてもよい服装でお越しください。■問い合わせ: 小舟木エコ村推進協議会事務局(地球の芽内) / TEL: 0748-33-7522 / FAX: 0748-33-8686 / E-mail: chisato-t@chikyunome.co.jp

【Oumi Food Project】彦根元気フェスタに模擬店を出展

10/13(月) 体育の日に行われる元気フェスタに模擬店を出します。昨年大好評だった近江牛バーガーや、おからを使ったお菓子等を販売する予定です。午前9時~の販売で、なくなり次第終了します。OumiFoodProject 渾身の自信作を、ぜひご賞味ください! ■日時: 10/13(月) ■場所は: 県立彦根総合運動場陸上競技場 彦根市民体育センター前 ■問い合わせ: TEL: 090-8527-6808 (青木) / E-mail: oumi_f00d_project@yahoo.co.jp ■ URL: <http://syokunomise.jyokamachi.com/>

今月の楽座

10月の近江楽座の主な活動予定です。
(●は、一般参加者募集中)

- 「旧村岸邸」町家公開イベント【いかして民家?】
- 糸作り(収穫から随時)【稲枝 Cotton Project】
- 炭焼き【犬上川竹林プロジェクト】
- 10/26 木工ワークショップ【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】
- 百彩 in 鳥居本【近江中山道百彩プロジェクト】
- 10/13 彦根元気フェスタ模擬店出展【Oumi Food Project】
- 屋根の葺き替え視察(美山)【限界集落の村おこし】
- 10/1 shihiro-ie グランドオープン shin-ra による shihiro-器展【信・楽・人-field gallery project】
- 彦根市内に運用【ソーラーペロタキシー】
- 健康フェスタ【とよさと快蔵プロジェクト】
- 聞き取り調査【発信基地 in 朽木の森】
- 完成品の試乗会、印象度調査【彦根人力舎彦根地場産業発信計画一】
- 行動体系まとめ【「もったいない帳」を用いたスロライフプロジェクト】
- 活動拠点整備【八日市屋台プロジェクト(プロジェクト YYY)】
- Viva City Fashion Show への参加・第2回ワークショップ【Living Design 12th FASHION SHOW】
- リサイクルプランター(彦根版)の販売【Let's 複合】

【編集後記】

秋はイベントの季節! 毎年、近江楽座でも、10月から11月にかけてたくさんのイベントが開催されます。タイムリーな情報は、近江楽座HPで! <http://ohmirakuza.net/> (みた)



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

●スキルアップ講座「伝える」を開催

10/20、今年よりスタートした 地域活動スキルアップ講座の第1回「ビジュアルで伝える」を開催しました。

講師にドキュメンタリー映画監督であり、写真家の長岡野亜さんをお迎えし、活動写真の撮り方について学びました。当日は、楽座のプロジェクトメンバーを含め、定員 20 名を大幅に超



える 30 名以上の参加があり、大賑わいを見せました。

長岡さんが製作に携わった映像を見ながら、撮影のポ

イントや心得をレクチャーをいただいた後は、いよいよ実践！それぞれが持参したカメラで、撮影会の開始です☆今回被写体を買って出てくれたのは、エコキャンパスプロジェクト木楽部会のメンバーたち。木材から、黙々と木箱を作っていく様子を、4つの班に分かれて撮影しました。最初は緊張していた参加者

たちも、撮影会が進むに連れ、だんだんノリノリに？（笑）

撮影会のあとは、数名の参加者が、それぞれ撮影した写真をスクリーンで観賞。それぞれの写真について、講師の長岡さんが撮影の具体的なポイントなどをコメントをしてくださいます。「余白を少なく」「被写体についての事前の予習をしておく」など、すぐにでも使えそうなアドバイスがたくさんあり、参加者も真剣なまなざしで聞き入っていました。

地域活動スキルアップ講座は、「伝える」をテーマに、全 3 回の開催予定です。次回は 11/20「何を伝える？どうやって伝える？」と題して、広報戦略について学びます。申し込み、好評受付中です。詳細は、近江楽座 HP をご覧ください！

●「中間発表会」を開催します！

日ごろ異なるテーマやフィールドで活動している近江楽座の全 23 プロジェクトが一同に会し、それぞれの近況報告や意見交換を行う中間発表会を開催します。地域に根ざしながら活動する学生らの生の声には、まちづくりや地域活動へのヒントが盛りだくさん。学生のみならず、地域の皆さん、ぜひ、お誘い合わせてお越しください。■日時・場所：11/18（火）10：30～17：00 大学交流センターホワイエ■その他：発表会終了後交流会を開催します（有料）■問い合わせ：大学地域づくり教育研究センター：滋賀県彦根市八坂町 2500／TEL：0749-28-8612 / FAX：0749-28-8567 / E-mail：info@ohmirakuza.net／URL：http://ohmirakuza.net/

■ TEAM NEWS

●湖風祭特集！

11/7(金)～9(日)の 3 日間、県大で開催される湖風祭に、近江楽座のプロジェクトも参加します。日ごろの活動を覗くことが出来るチャンス☆気軽に立ち寄りください。（場所などの詳細は、当日会場で配布しているパンフレットをご覧ください。）



■未来看護塾

▽日時：11/8（土）-9（日）11:30～16:00 ▽場所：センター広場
▽スライム作り、アートバルーン、シャボン玉、魚釣りなど

■エコキャンパスプロジェクト（犬上川竹林プロジェクト）

▽日時：11/7(金)-9（日）
▽竹箸作り体験（交流センター前広場）と、活動で作った竹炭を使った焼きお握りの模擬店（環境村）

■Living Design 12th

▽日時：11/8(土)19:00～ ▽場所：メインステージ
▽今年で 12 回目を迎える、毎年恒例のファッションショー

●竹炭作り【エコキャンパスプロジェクト】

9/27(土)、28(日)に、定例活動の竹林整備で伐った竹を有効利用することを目的に、伐った竹を使って竹炭を作りました。あいにく参加人数が 5、6 人と少なかったため、窯の大きさを普段の半分にしたものの、32kg もの炭ができました。今回は、炭のできた割合である「収炭率」も 16%と高く（いつもは 10%ぐらい）、よい成果を出すことが出来ました。この炭は湖風祭でのイベントに活用する予定です。

●Viva city でファッションショー！ 【Living Design 12th】

10/12（日）彦根市のショッピングセンターvivacityにて、ファッションショーを開催しました！今年は、4つのテーマを元に制作した 40 着を披露。もちろんモデルはメンバー他たちが務めます。衣装だけでなく、音楽や映像にも工夫を凝らし、さまざまなかたちでショーを楽しんでもらいました。また、恒例の湖風祭でのファッションショーは 11/8（土）、19 時スタート！今年のテーマは、その名も“SHOW WINDOW！！”。Living Designer's Mall という架空のショッピングモールを舞台にショーが展開されます。昨年度からさらにパワーアップしたショーに、ぜひ遊びに来て下さい☆



●ひこにゃんもプランター【廃棄物バスターズ】

10/18(土)に、彦根市にある滋賀電気(株)で行われた市民環境フォーラム「地産地消でエコひこね」に参加しました。当日出展した我々の「リサイクルプランター」に「ひこにゃん」も興味津々♪

また、10/25(土)26(日)に開催された「ゆるキャラまつり in 彦根～キグミさみっと 2008～」では、「彦根 KIREI キャンペーン隊」としてゴミを「拾えば街が好きになる活動」に参加し、裏方としてイベントを盛り上げました。



PICK UP

◆限界集落の村おこし

by 男鬼楽座

現在、彦根市・多賀町周辺にある16の限界集落のうち、11集落が消滅の危機に瀕しています。私たちは、昭和40年代の面影を残す限界集落「彦根市男鬼地域」をフィールドに、これまで自然環境や地域文化財などの基礎的調査や、茅葺き民家の保存・活用のための活動に取り組んできました。5年目となる今年度は、これまでの成果を活かして、屋根の一面の葺き替えを試みると共に、茅場の手入れなどを継続して行います。

また、新たに男鬼付近の限界集落にも活動範囲を拡げて、現状把握と問題点の整理を行いながら、限界集落のさらなる有効な活用方法について探ります。

プロジェクト HP: <http://www.shc.usp.ac.jp/ecocampus/index>



◆信・楽・人- field gallery project by 信・楽・人- field gallery project

本プロジェクトは、「Field Gallery Project」をテーマに、信楽のまちに潜む地域の魅力を再発見・再構築し、まちをギャラリーのように楽しみ・驚き・発見してもらえるような場所にするを目的として活動しています。今年度は、「Field Gallery」を実践していくための土台となる、フィールドサーベイ（現地調査）に取り組めます。また、昨年改装したギャラリー「shiroiro-ie」を活用し、ギャラリー改装記録の写真展や、「食と陶器」をテーマにしたイベントの開催を通して、地域との交流や新たな信楽の魅力を創造する契機を作ります。

プロジェクト HP: <http://sigarakipr.exblog.jp/>



近江楽座の活動プロジェクトを、毎号数チームずつ紹介します。

◆市民および医療に携わる人々との ふれあいを通して志向する未来看護塾 by 未来看護塾

私たちは、人間看護学部所属する学生らが中心となり、地域住民や医療現場で働く方々と交流しながら、看護における対人関係の意義を学ぶことを目的に活動しています。これまでの4年間の活動を通して得ることができた、医療や看護に対する多様な地域のニーズに対し、今年も彦根市立病院小児病棟等での「定期的なボランティア活動、湖風祭への「子ども広場」の出展、長寿会での健康支援活動などに取り組めます。学生ならではの視点で地域を捉えながら、人が人として生きていくための生き方を支える「未来の看護のあり方」について模索していきます。



◆障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト by ボランティアサークル Harmony

甲良養護学校に通う子ども達の家族やその支援者などからなる「NPO 法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー」の活動支援を目的として、自閉症などの障がいを持った子ども達の余暇活動支援や、彼らと地域との交流支援を行っています。今年度は、これまで継続してきた粘土工作などの定例活動や、宿泊体験などに加え、生き物と触れ合う乗馬体験にチャレンジしたり、活動の広報に力を入れていきます。ハンディを抱えた子ども達やその関係者だけではなく、「地域との交流」を大切にしながら、障がいの有無に関係なく誰もが住みやすい地域社会の実現を目指します。



チーム伝言板

【信・楽・人-field gallery project】shiroiro-ie 改装の記録展

11/1 から 30 まで、信楽人が昨年度より取り組んで来た shiroiro-ie の改装の様子を綴った「改装の記録展-古民家が真っ白になるまでの1年-」を開催します。

また、11/3 には、改装作業に関わったメンバーや、地元の窯元集団 shin-ra や一般窯元、一般の方々を招いて、信楽のまちあるきと、shiroiro-ie のオープニングパーティーを兼ねたレセプションパーティーを開催します。この機会に、ぜひ shiroiro-ie に遊びに来てくださいね^^■

日時: 11/1(日)~30(日) 11:00-夕暮れ ■場所: shiroiro-ie (甲賀市信楽町長野 645) ■問い合わせ: info@shiroiro-ie.com ■HP: <http://www.shiroiro-ie.com/>



事務局だより

●「地元学入門」が開講しました

後期より、近江楽座の取り組みを事例として、地域づくりを学ぶ「地元学入門-学生力をいかした地域活動基礎講座」が始まりました。(※本講義は、大学カリキュラムとして、本学学生を対象として開講されるものです。) 毎回、近江楽座のプロジェクトの指導教員や、学生メンバーを講師に迎え、近江楽座による学生主体の地域貢献活動をとらえて、地域課題とその社会的背景について学びます。

今期の受講生は、1 回生や 2 回生が多い様子。これからの地域活動や近江楽座の中心を担う「新世代」が、ここからたくさん誕生してくれたらいいですね！

今月の楽座

11 月の近江楽座の主な活動予定です。
(●は、一般参加者募集中)

- 「一圓邸」公開イベント【いかして民家?】
- 作品制作【稲枝 Cotton Project】
- 親子ものづくりワークショップ
【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】
- 写真集作成【近江中山道百彩プロジェクト】
- カフェ運営【Oumi Food Project】
- 改装の記録展-古民家が真っ白になるまでの1年-
(11/1-30) まちあるき (11/3)
- 【信・楽・人- field gallery project】
- 湖風祭【未来看護塾】
- クリスマスコンサート
- 【障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト】
- びわ湖環境ビジネスメッセ (11/5~7)
- 【ソーラーペロタクシー】
- コスモス・パンキンフェスタ【とよさと快哉プロジェクト】
- 湖風祭 (11/7~9)【菜の花エネルギー】
- 絵本と紙芝居の製作作業【発信基地 in 朽木の森】
- びわ湖環境ビジネスメッセ (11/5,6,7)
- 【彦根人力舎-彦根地場産業発信計画-】
- 二五八祭り【八日市屋台プロジェクト】
- 湖風祭 Fashion Show、展示会、第3回ワークショップ、写真撮影会【Living Design 12th FASHION SHOW】
- 『山里の暮らしを楽しむ』体験プログラム(11/2-3)
【木之本楽座】

【編集後記】

スキルアップ講座、好評開催中です。活動の後半戦にむけて、ますますパワーアップしましょう~! (みた)



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

●中間発表会を開催しました

11/18(火) 交流センターホワイエにて、2008 年度近江楽座中間発表会発表会を開催しました。

当日、チームの活動パネルや、展示物などに囲まれた特設の会場にはチームのメンバーや教員を中心に 97 名が参加してくれました。

発表会では、全 23 チームのプロジェクトの代表者が 3 つのパートにわかれ、ファシリテーターの教員を中心に、それぞれの近況報告や活動の悩み、近江楽座などについて、座談会形式で語り合いました。特に、メンバー不足や広報力不足などは、やはり毎年多くのチームから聞かれる課題です。

さらに、今年は、プロジェクト間の連携についても意見交換しました。普段なかなか顔を合わせる機会のないプロジェクト



同士がコラボして活動した例は過去いくつかありますが、まだまだ積極的とはいえない状況にあります。参加したメンバーからも、「こういった発表会をきっかけにして、興味があるプロジェクトとコラボできるといい」という声が聞かれました。

また、会場には 5 月の審査会でプロジェクトの選定委員を務めていただいた方や、地域の関係者の方にも出席いただき、応援のメッセージや叱咤激励をいただきました。

座談会の後は、交流会。平日、また寒い会場での開催となったため参加人数は少なかったものの、教員と学生が入り混じり、なかなか濃い意見交換をすることができました。中間発表会が終わり、活動もいよいよ終盤戦へ突入です！

●第2回スキルアップ講座を開催しました

11/20(木)、大学交流センター研修室にて、地域活動スキルアップ講座の第2回「何を伝える？どうやって伝える？」を開催しました。講師に、NPO 法人ユースビジョン理事・事務局長の芝原浩美さんをお迎えし、14 名の参加者が広報活動の基礎について学びました。

まず、これまでの自分の広報活動の経験などを交えて自己紹介した後は、芝原さんのレクチャーです。広報は「双方向のコミュニケーション」であるという言葉が印象的でした。わかっているようでも、ポイントを整理して提示していただくと、目からウロコの発見がいっぱい！伝える相手や媒体、一つ一つ意識して、丁寧に広報戦略を考えることの大切さを改めて感じました。

次は、数人のグループに別れての簡単なワークショップです。それぞれ設定した既存の(架空の)イベントについて、「広報戦略シート」を作成し、発表した後、意見交換を行いました。様々なプロジェクトチームのメンバーが入り混じっての意見交換だったせいか、自分だけでは気付かない問題点や課題が浮き彫りになったり、新鮮な意見もたくさん飛び出していました。

地域活動スキルアップ講座は、「伝える」をテーマに、下記の日程で開催しています(全 3 回)。次回は 12/19(金)「メディアから伝える」と題して、メディアを活用した広報について学びます。



■ TEAM NEWS

●ついに完成！ソーラーペロタクシー 【ソーラーハンター】

6 月より製作に取り組んでいたペロタクシーに太陽電池パネル(ソーラーパネル)を取り付けた「ソーラーペロタクシー」が、ついに完成しました！初披露の舞台となったのは、11/5～11/7 の 3 日間、長浜ドームで開催された「びわ湖環境ビジネスメッセ 2008」。完成したソーラーペロタクシーの PR を兼ねて、ドーム前広場に車両を展示し、試乗会を行いました。

ソーラーペロタクシーはペロタクシーに太陽電池パネル、コントローラー



(充放電制御)、接続部品を取り付けたもの。ソーラーペロタクシーは太陽電池から得られた電気をバッテリーに充電し、その電気をペロタクシーの電動アシストシステムに使用しています。当日は、ビジネスマンや、親子連れ、学生など多くの来場者が試乗してもらうことができ、反応も上々♪メンバーの解説にも思わず熱が入りました。

また、11/26～11/28 の 3 日間は、インテックス大阪で開催された「ニューアース 2008」に参加。協力団体である NPO 法人五環生活(ペロタクシーひこね)のブースに展示されたソーラ

ーペロタクシーには、多くの来場者が興味津々の様子。メンバーも、様々な声を聞くことができ有意義な体験となりました。

そして、12 月中旬より、いよいよこのソーラーペロタクシーの彦根市内での本格運行が始まります。なんと、太陽電池パネルだけではなく、車体の外観も、“ソーラーハンター”仕様の、世界に一つだけのソーラーペロタクシー♪市内で見かけたら、ぜひ乗り心地を体感してくださいね。■運行についてのお問い合わせ：ペロタクシーひこね／TEL & FAX：0749-26-1463／URL：http://gokan-seikatsu.jp/velo/

●大注目の彦根リキシャが完成【リキシャ】

伝統工芸品である「彦根仏壇」の蒔絵や漆塗りといった技術を駆使した和風の自転車タクシー「彦根リキシャ」が完成しました！これは、彦根の城下町の街並みにあうようにと、学生グループのリキシャを始め、市内の「ひこね自転車活動を進める会」らのメンバーが中心となって今年 3 月より製作に取り組んできたものです。

この彦根リキシャは、県内等でのイベントで披露されたのち、来春より彦根の町を運行するそうです。大人カッコいいこのリキシャの全貌を、ぜひ自分の目で確かめてくださいね！

■リキシャ URL：http://rikiseri.exblog.jp/



PICK UP

◆Taga-Town-Project by Taga-Town-Project

私たちは、多賀・湖東地域をフィールドに、町が抱えるニーズや課題について地域と共に考え、取り組みながら、元気で個性あるまちを作ることを目的に活動しています。建築デザインを学ぶ学生が中心となった本プロジェクトでは、これまで、地元間伐材を活用した休憩所の整備や、地元の万灯祭への企画・参加などに継続して取り組んできました。今年度は、「まちによるまちづくり」の実現を目指して、活動のプロセスや成果などの「情報発信」に重点的に取り組みます。まちづくりをテーマにしたホームページなどからの情報発信を通じて、より多くの地元住民を巻き込みながら、多賀のまちづくりを盛り上げます。プロジェクト HP: <http://tpt.cho-chin.com/>



◆とよさと快蔵プロジェクト by とよさと快蔵プロジェクト

私たちは、高齢化や若者の町外への流出などに悩む豊郷町を楽しく活気ある町へと蘇らせることを目的に、古民家などの改修や、イベントの実施などに取り組んでいます。これまで、利用されなくなった町内の7件の古民家や空き蔵をコミュニティハウスやバーへ改修し、活用してきました。5年目を迎える今年度は、個々の物件ではなく、町内でも比較的古い町並みの残る愛知神社付近の“通り”を対象として、ハード面、ソフト面の整備を行う長期計画に着手します。古民家などを利用したカフェやギャラリーなどを設置し、それらを通して町内外の人々と交流しながら、豊郷町をより魅力的な町へと変貌させます。プロジェクト HP: <http://toyotoyo.wablog.com/>



近江楽座の活動プロジェクトを、毎号数チームずつ紹介します。

◆菜の花エネルギー by 菜の花エネルギー

私たちは、資源循環型地域の実現を目標に、「菜の花バイオディーゼルの燃料」を用いたエネルギー環境教育に取り組んでいます。これまで、廃食用油の回収会や、菜種油の家庭での利用促進、それらの廃食油の燃料化などを実施してきました。今年度は、昨年度に引き続き、湖風祭や小中高等学校におけるエネルギー教育講座の開催や、湖東町のイルミネーションイベント「コトナリエ」への燃料提供などを行います。また、昨年度から取り組んでいる休耕田での菜の花栽培では、地域住民らに菜種油の搾取と利用、廃食油の燃料化など一連のサイクルを体感してもらいながら、エネルギーに対する理解の向上を目指します。



◆発信基地 in 朽木の森 by くつきチーム

私たちは、2004年度より、高島市朽木地区をフィールドに、学生という視点や立場から地域の魅力を引き出し、活かすことを目的に、聞き書き集や広報誌の作成などの様々な活動に取り組んできました。今年度は、多数ある朽木の魅力のうちの一つ、“お年寄りの語り”に着目します。お年寄りへの聞き取りから、日常では語られなくなりつつある、地域に根付いた“知恵”や“文化”を引き出し、それらを紙芝居や絵本として作成します。これらの活動を通して、地域におけるお年寄りの存在意義を再認識すると共に、お年寄りが持つ地域を豊かにする可能性を、朽木地域内外に向けて発信していきます。



■事務局だより

●おまたせしました！「近江楽座のススメ」発行！

地域活性化を目的とする学生プロジェクト「近江楽座」

40を超えるチームの中から12チームをピックアップし、地域活動とおして悩み、考え、自ら成長していく学生たちの歩みをつづったドキュメント。

「なぜ、近江楽座は、こんなに注目されているの？」
「なぜ、多くのプロジェクトが成果をあげているの？」
「なぜ単位認定がないのに活動を継続できるの？」

この本には、学生の「地域活動のヒント」がたくさん詰まっています。汗と涙と笑顔にあふれる近江楽座4年間の軌跡をのぞいてみませんか？

「近江楽座のススメ」
学生力で地域が変わる！
／4年間の軌跡」
近江楽座学生委員会＝編著
株式会社ラトルズ出版
定価：1800円＋税



■ 今月の楽座

12-1月の近江楽座の主な活動予定です。
(●は、一般参加者募集中)

- 収穫綿を使った作品製作など【稲枝 Cotton Project】
- たけともクラブ（門松作り）【犬上川竹林プロジェクト】
- 「もくれん」整備ワークショップ、地域に向けた木工教室【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】
- 写真集の製作【近江中山道百彩プロジェクト】
- 商品開発など【Oumi Food Project】
- 茅刈イベントなど【限界集落の村おこし】
- 「食を通して陶器を考える」vol.2、人物マップの作成【信・楽・人-field gallery project】
- 彦根市民病院小児病棟クリスマス会【未来看護塾】
- クリスマスコンサート（12/6）【障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト】
- ソーラーベロタクシーの運用【ソーラーベロタクシー】
- オープンハウス【とよさと快蔵プロジェクト】
- 絵本と紙芝居の製作・絵本の発行【発信基地 in 朽木の森】
- 印象度調査など【彦根人力舎・彦根地場産業発信計画】
- もったいない手引きの作成【もったいないプロジェクト】
- 商店街のPR活動【八日市屋台プロジェクト】
- スーパーパンフレット・DVD制作【Living Design 12th FASHION SHOW】
- 全国大学生環境活動コンテストへ参加【Let's 複合】

【編集後記】

「近江楽座のススメ」が発刊の運びとなりました♪担当者としてこの出版プロジェクトに関わるようになり、取材や執筆などの作業を通して、改めて近江楽座の奥深さを感じました。手前味噌ですが、滋賀県を越えて、全国へ…と、自信を持ってお薦めできる「学生力」のバイブルとなるような1冊です♪(みた)



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をととして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

● 近江楽座第二章 開幕!

“スチューデントファーム「近江楽座」／まち・むら・くらしふれあい工舎”は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をととして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを募集し、所定の審査を経て採択されたプロジェクトに対して、調査、研究、活動等経費を助成するものです。文部科学省の平成 16 年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択され、三年間の活動を行ってきました。

学生を主体とする「近江楽座」の活動は、地域の方々へ大きな期待をもって迎えられており、この間に培ってきたノウハウや地域とのつながりなどをさらに継承、発展させていくことが、大学の地域貢献という視点からも非常に重要となってきます。

そこで、平成 19 年度からは、大学独自の予算を用いて、これまでの「近江楽座」の取り組みを継続するとともにこれまで 3 年間の地域活動の実績をもとに、よりいっそうパワーアップした地域活動が展開できるように支援内容及び体制の拡充を図っていきます。

今年度より、「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を行うプロジェクト「A プロジェクト」に加え、新たに、自治体や企業等から提示された課題について、学生主体のプロジェクトチームを結成し活動する「B プロジェクト」がスタートします。ますますパワーアップした近江楽座に、ご期待ください!

● A プロジェクトに 18 チームが採択されました

5 月 19 日 (土)、応募のあった 22 チームによる、「19 年度近江楽座活動プロジェクト公開プレゼンテーション」並びに審査会が行われました。プレゼンテーションでは、各チーム 5 分という短い時間ながらも、精一杯プレゼンを行う姿が印象的でした。質疑応答では、選定委員と熱い議論が交わされました。プレゼン後に場所を移して行われた審査会では、選定委員による厳正なる審査が行われた後、採択プロジェクトが決定しました。



近江楽座 2007 年度 A プロジェクト一覧

区分	プロジェクト名	チーム名
継続	いかして民家?	古民家楽座
継続	犬上川竹林プロジェクト	エコキャンパスプロジェクト
継続	エコキャンパスプロジェクト木楽部会	エコキャンパスプロジェクト木楽部会
新規	Oumi Food Project	Oumi Food Project
継続	限界集落の村おこし	男鬼楽座
継続	再興湖東焼プロモーション事業	UTSUWAD
新規	信・楽・人-shigaraki field gallery project	信楽人
継続	市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾	未来看護塾
継続	障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト	ボランティアサークル Harmony
継続	Taga-Town-Project+	TTP+
継続	ツナギ創造プロジェクト	C3(Community Concierge Consultant)
継続	とよさと快蔵プロジェクト	とよさと快蔵プロジェクト
継続	菜の花エネルギー	菜の花エネルギー
継続	発信基地 in 朽木の森	くつきチーム
新規	人と自然を繋げる会	エコキャンパスプロジェクト
新規	八日市屋台プロジェクト (プロジェクト YY)	わいわい楽座
継続	Living Design Fashion Show	Living Design 11th
継続	Let's 複合	廃棄物バスターズ

今年度は、新規 4 チームを含み、4 学部から採択された 18 プロジェクトでの活動スタートです。中には、近江楽座 4 年連続で採択されたベテランチームもあり、今年度新たに活動を開始するチームもあり、モノ作りのチームあり、福祉のチームもあり...と今年も多彩な顔ぶれがそろいました☆新生近江楽座一年目の彼らの活躍が、大いに期待されます!

● B プロジェクトまもなくスタート

今年度より新設された B プロジェクト。初めての試みである初年度、クライアントである「滋賀県」より提案された課題は「湖北地域における都市と地方の交流居住・移住促進事業」です。これらの課題に対し、「情報発信ツールの企画・制作」と「地域と連携したモニター・ツアー (お試し居住) の企画、実施」という二つのテーマを設定し、それぞれ学生からの企画提案を募集しています。採択されたチームは、指導教員、地域づくり調査研究センターとともに県と近江楽座の資金を活用しながらプロジェクトを推進します。

今年度は、6 月 29 日に開催される審査会 (面接) で採択プロジェクトが決定し、7 月より本格的に活動をスタートさせる予定です。



■ TEAM NEWS

● 学生委員会もパワーアップ！

昨年度より、これまで楽座プロジェクトチームの代表を務めた学生らが中心となり、近江楽座を推進していくために自主的に組織された「学生委員会」。昨年度は、学内外への情報発信や、チーム間の交流を目的として、学生会議の開催や活動紹介冊子やニュースレターの発行など様々な活動を行ってきました。そして、今年度、新たなメンバーも加わり、さらにパワーアップ！交流会や楽座グッズの製作など、学生ならではの視点で近江楽座のサポートをしてくれる予定です。



● プロジェクト交流会を開催しました

6月20日(水)、大学交流センターにて、学生委員会主催で今年度初めての交流会が開催されました。今回は6チームから、25名の参加があり、学生委員会お手製のカレーに舌鼓をうちながら、他学部のチームと交流を深めました。今後は毎月20日開催予定です。チームの皆さん、ぜひご参加を☆



● 楽座カレンダーを設置しました

大学学生ホール内にある楽座専用掲示板に「楽座カレンダー」を設置しました。毎月のプロジェクトの活動予定が掲載されます。イベントのお知らせやメンバー募集などの情報も随時更新予定です。ご注目ください！

■ チーム伝言板

【信楽人】信楽火まつりに参加しませんか？

信楽の火まつりは、江戸時代以前よりつづくといわれる祭りで、やきものづくりや産業、文化、生活に欠かせない「火」、への感謝と、火に関わる安全を願って毎年行われています。新宮神社から、愛宕山山頂の神社に毎年700本程度の松明が奉納される信楽の伝統行事に、信楽人は、今年松明作りから参加します。そこで、一緒に松明作りにチャレンジする人を募集しています。また、7月後半は改装作業(壁塗り作業など)を集中的に泊り込みで行います(詳しい日程は未定)。信楽に興味がある人、大工仕事にチャレンジしてみたい方、ぜひご連絡をお待ちしています。詳しくは近江楽座事務局まで。■連絡先：近江楽座事務局：0749-28-8612 / rakuza@ses.usp.ac.jp



【C3】「百彩」スタッフ&出展者募集！



「百彩」は、彦根市高宮町の中山道沿いを赤く染めよう！というイベントで、色によって景観を統一し、まちの人々に景観への意識を持ってもらうことを目的として開催されています。私たちC3は、毎年このイベントの企画から運営までを行っています。今回警備スタッフと出展者及びチームを募集しています。■日時：8/10(金)、11(土)、12(日)10:00~18:00■

彦根市高宮町■謝金など：警備スタッフ…日給3,000円・募集人数8人/日、出展者(チーム)…制作費10,000円・募集3組/日■連絡先：C3(担当迫間)：090-9695-0814 / hayatohasama@k.vodafone.ne.jp

【Oumi Food Project】屋台テスト販売のお知らせ(予告)

私たちは、「彦根ならではのものを手軽に」をモットーに、滋賀県や彦根市ならではの食材を用いたオリジナル料理を提供する手作りの屋台を製作する予定です。現在、地元の食材や郷土料理をあらためて調べなおし、新しいメニューを模索し試作を行っています。試作品が完成次第、キャッスルロードでテスト販売を行います。日程等の詳細やプロジェクトの進捗は、プロジェクトのホームページをチェックしてください！■日時：7月(詳細未定)■場所：せんなり亭伽羅・向かい(彦根市キャッスルロード)■Oumi Food Project HP：http://syokunomise.jyoukamachi.com/

【学生委員会】活動メンバー募集！

近江楽座学生委員会では、一緒に近江楽座を盛り上げていってくれるメンバーを募集しています。イベントを企画してみたい、イラストを書いたりデザインすることが得意、みんなでわいわいすることがスキ！など、きっかけは何でもOK！ぜひ、学生委員会で一緒に活動しませんか？学部を越えた個性あふれるメンバーが、参加をお待ちしています。現在、隔週金曜日にミーティングをしていますので、興味がある人は一度気軽にご参加ください☆詳しくは学生委員会まで。■連絡先：近江楽座学生委員会：post-rakuraku@hotmail.co.jp

■ 来月の楽座

7月の楽座の活動予定です。
(主に外部向けの活動を掲載しています。)

- 竹の除伐・間伐(竹林プロジェクト)
- キャッスルロードで屋台のテスト販売(Oumi Food Project)
- インタビュー調査・ブナの現状調査など(男鬼楽座)
- 7/28しがらき火まつり参加・古民家改装(信楽人)
- 福寿会にて腰痛予防教室(未来看護塾)
- 磯部邸外回り改修・とっとまつり(とよさと快蔵プロジェクト)
- 高校生向けエネルギー講座・コトナリ工準備のための電力供給(菜の花エネルギー)
- 聞き取り調査・体育館改築事業の記録、編集など(くつきチーム)
- 聖徳祭り参加(わいわい楽座)
- 服作り開始(Living Design 11th)
- 彦根築城400年祭でのボランティア活動(廃棄物バスターズ)

■ 事務局だより

▼近江楽座ホームページ・オープン中☆

近江楽座のリアルタイムの情報は、下記ホームページよりご覧いただけます。今年も、チームからの耳より情報や、事務局からの様々なイベントのお知らせ・報告など、盛りだくさん。ぜひアクセスしてくださいね。

<http://ohmirakuza.net/>

▼楽座で活動してみたい人、募集します！

近江楽座では、一緒に活動する仲間を募集しています！イベントに興味がある、学生生活をもっと充実させたい…などなど、動機は問いません。興味があるプロジェクトがあれば、まずは気軽に事務局までお問い合わせください。

【編集後記】

今号よりニュースレターを担当します、事務局みたです。近江楽座では、主にAプロジェクトと広報を担当しています。今年は、昨年から代表も多く代替わりして、フレッシュな顔ぶれ。中には2回生でプロジェクトを率いている、頼もしいリーダーもいるんです！これから一年間、プロジェクトの活動生活と共に、彼らの成長ぶりも楽しみでっす☆(みた)



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

● Bプロジェクトがスタートしました！



各々のチームがそれぞれ設定した活動に取り組む従来のAプロジェクトに対し、あらかじめ提示された課題に取り組むBプロジェクト。初年度となる今年は、6月5日(火)から6月26日(火)まで

プロジェクト募集を行い、3件の申請がありました。そして、6月29日(金)に、全てのプロジェクトを対象として面接を実施し、5名の選定委員による審査会を経て、右記の通り活動チームを選定しました。今後は、指導教員、地域づくり調査研究センターとともに県と近江楽座の資金を活用しながらプロジェクトを推進していきます。事業の進捗は、この ohmi-rakuza.net やホームページでも随時紹介して行く予定です。お楽しみに！

<Bプロジェクト採択チーム>

テーマ①「情報発信ツールの企画・制作」
・近江楽座学生委員会(代表 竹岡寛文)

テーマ②「地域と連携したモニター・ツアー(お試し居住)の企画、実施」
・古民人(代表 迫間勇人)
・木之本楽座(代表 本田瑞恵)

● 教員チームもパワーアップ！

今年度より、近江楽座の運営に取り組む教員会議「近江楽座推進会議」が、正式に地域づくり調査研究センター運営委員会第1専門委員会に位置づけられることになりました。

これまで三年間現代GP推進会議としてご尽力いただいた12名の先生方とともに、新たな先生方にもメンバーとして入っていただき、合計20名の教員らによりさらにパワーアップした近江楽座の運営に取り組んでいきたいと考えています。

■ TEAM NEWS

● 万灯祭ワークショップ【ttp+】

昨年度末に完成した造形活動拠点「もくれん」にて、8月3～5日に多賀万灯祭に奉納する行灯を製作しました。万灯祭は毎年、8月3から5日の3日間、多賀大社で行われる祭りで、境内には、全国各地の信者から寄せられた、1万数千灯を超す提灯が飾られ、その提灯の下で、3日間各種の神賑行事が行われます。ttp+では、行灯のほかに今年は多賀木匠塾とのコラボレーションで、絵馬二号館での活動展示、多賀まるしゑの庭を使って小さなカフェや子供向けの催し物を実施します。満天の夜空の下、夏の夜に夕涼みがたせひ足を運んでください。■日時：8/3(金)～5(日) 17:00～22:00 ■場所：多賀大社(多賀町) ■連絡先：多賀大社：0749-48-1101 / info@tagataisya.or.jp / ttp+ : ttp_ttp_ttp@yahoo.co.jp

● 緩和ケアを通じてのふれあい

【未来看護塾】

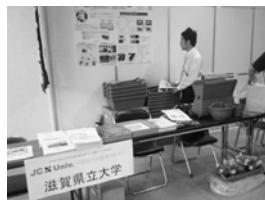
6月27日(水)に、彦根市立病院緩和ケア病棟にてイベントを行いました。今回は入院患者さんとそのご家族を対象に、ティーサービスやハンドベル演奏、合唱、手品などを行いました。患者さんの中にはこの日を心待ちにされていた方もいてくださり、約1時間程度の短い時間でしたが一緒に楽しく過ごすことができました。



また、7月1日(日)には、健康支援活動として福寿会で腰痛予防教室を行いました。今回は60名という大勢の高齢者を対象に血圧・BMIなどの健康チェックや腰痛予防について知ってもらうために、有効な食事や運動の方法、負担の少ない姿勢

● 産学連携を目指して

【廃棄物バスターズ】



6月30日(土)、地域にある大学という宝を地域企業が生かすこと、またそこに集う学生が持つ、新しい時代の考え方を理解し、互いに見解を広めることを目的とし「JC meet Univ.～湖国の大躍進のために～」というイベントが開かれ、会場である立命館大学びわこくさつキャンパスに県内の大学が勢ぞろいしました。我が廃棄物バスターズも当日は産学連携ブースに出展し、リサイクルプラントの配布をおこないました。自分たちの取り組みに対して、直接反応をもらえる機会を持つことは、とても励みになります。

● 定例交流会を開催しました

【学生委員会】

7月20日(金)、学生委員会主催での定例交流会が開催されました。今回のテーマは「そうめん流し」！。テスト期間中のため今回は少し参加が少なかったものの、5チームから15名ほどのメンバーが集いました。犬上川竹林プロジェクトの吉川くんの指導のもと、竹を切るところから企画がスタート！みんなで竹を割って“my箸”と“myおわん”を作ってから、台を組み立て、節を取り除き…と2時間ほどで全長6、7mはあろうかというそうめん流しの台が完成しました。竹のおわんでいただくそうめんはまた格別の味(*^_^*)みんなでわいわいおいしくいただきました。学部や学科、学年を越えた交流ができるのは楽座ならではの企画も楽しみです。楽座メンバー以外の方、ぜひ気軽に参加してくださいね！



PICK UP

1. いかして民家? by 古民家楽座



古民家楽座では、今年度は、昨年度に引き続き、活動範囲を彦根市及び近江八幡市を中心とした湖東地域一帯とし、「旧村岸家」や「兵四郎」などの地域の歴史的環境を形成する伝統的な建造物の価値を再評価すると共に、伝統的建造物を活用した地域活性化への手法を探ることを目的とし活動を行います。地域

住民らと連携しながら、伝統的建造物に関する基礎資料の収集や、伝統的建造物の整備、公開イベントをはじめとしたそれらの活用や、ホームページを通じた情報の発信、民家公開イベントや意識調査などを通じて地域住民との交流を進めていきます。

2. 犬上川竹林プロジェクト by エコキャンパスプロジェクト



大学の北東部を流れる犬上川に残る、川に沿った帯状の緑地であり様々な動植物の生息地として重要な土地河辺林を、明るく親しみやすい場所として生まれ変わらせることを目的として活動しています。これまでの活動で、竹の除伐や倒竹の整理を通じて約 1000 m²の河辺林を整備してきましたが、今年度は、さらに防災的かつ景観的な問題の解決に力を注ぎたいと思っています。

また、今年は、昨年度に続き、除伐・間伐で生じる大量の竹を竹炭・竹紙・竹箸などに有効活用する他、タケノコなどを使った料理会の開催や竹楽器や竹細工を地元の小学生と一緒に作るワークショップなどに新たに取り組みます。

チーム伝言板

【菜の花エネルギー】のんびりエコなドライブはいかが?

菜の花プロジェクトが誕生した東近江市を会場に、菜の花プロジェクトに取り組む未来世代が活動する現場からの事例報告、専門的な見地からの助言、情報交換の場として「第4回全国菜の花学会・楽会」が開催されます。そのイベントの一環として、菜の花バイオディーゼル燃料で動くBDFカートの試乗会に菜の花エネルギー製作のカートも登場します。「ゆっくり走ろう! ビタリレース」



では、カートに乗って規定のタイムの走行時間を競います。参加自由。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。■日時: 8/5(日)10:00~12:00 ■場所: クレフィール湖東特設会場(東近江市) ■連絡先: 東近江市あいとうエコプラザ菜の花館、NPO 法人愛のまちエコ倶楽部: 0749-46-8100

【C3】“赤い中山道”、再び!



「百彩」は、かつての中山道の宿場町としてにぎわった彦根市高宮町を舞台に、景観の連続性や統一性を表現するために行われてきたアートプロジェクトで、今年で3回目を迎えるイベントです。赤い物を軒先に飾り中山道を彩る「展示」の他、今年はスタンプラリーやフォトコンテストも同時開催! いつもとは違った目線でも、赤く彩られた街並を味わってみませんか。■日時: 8/10(金), 11(土), 12(日)10:00~18:00 ■彦根市高宮町 ■連絡先: 特定非営利活動法人五環生活・C3 (担当: 迫間): 090-9695-0814 / <http://gokan-seikatsu.jp/>

【その他】「学生地域活動サポート講座」の受講生を募集します

近江楽座事務局である地域づくり調査研究センターでは、地域活動や NPO に興味がある学生の皆さんを対象に、「学生地域活動サポート講座」を開催します。全 8 回の講座では、毎回様々な分野で活躍する県内の NPO 関係者の皆さん(豪華メンバーです!)のお話が聞ける他、実際に学内のグループらの活動現場を実際に体験します。NPO って何? 地域活動をして見たいけど何から始めたらいいかわからないという学生のみなさん、まずは気軽に、始めてみませんか? ■日時: 10/1(月)~隔週月曜日に全 8 回開催 ■場所: 大学サテライトプラザ彦根 C 教室(アルプラザ彦根 6 階) ■対象: 滋賀県立大学生(主に 1~2 年生) ■定員: 30 名 ■参加費: 無料 ■連絡先: 滋賀県立大学地域づくり調査研究センター(担当: 奥野・矢野): 0749-28-8299 / okuno.o@office.usp.ac.jp

<毎号近江楽座のプロジェクトを紹介していきます!>

来月の楽座

8月の楽座の活動予定です。

(主に外部向けの活動を掲載しています。)

- 兵四郎の民具調査・整備、一圃邸実測調査(古民家楽座)
- 竹の除伐・間伐、清掃活動、竹炭作り(エコキャンパスプロジェクト)
- 北駐車場看板製作、もくれん内の棚製作(エコキャンパスプロジェクト木楽部会)
- キャスルロードで屋台のテスト販売、屋台製作(Oumi Food Project)
- ホームページ運営開始など(男鬼楽座)
- 四番町での作品展示・販売、信楽研修、あさひ山陶芸体験案内制作など(UTSUWAD)
- 8/19 宝探しテーマパーク参加など(信楽人)
- 8/6,8,9,10,13,20,22,23,24 彦根地区のサマホリ参加、8/25,26 宿泊体験(ボランティアサークル Harmony)
- 8/3,4,5 万灯祭(TTP+)
- 8/10,11,12 百彩(C3)
- 磯部邸外回り改修・とっとまつりなど(とよさと快蔵プロジェクト)
- 8/5BDF カート試乗会など(菜の花エネルギー)
- 聞き取り調査・体育館改築事業の記録、編集など(くつきチーム)
- 定期調査(エコキャンパスプロジェクト)
- 第一回展示会(Living Design 11th)
- 彦根築城 400 年祭でのボランティア活動(廃棄物バスターズ)

事務局だより

▼近江楽座ホームページリニューアル!

ようやく...近江楽座ホームページを 19 年度版にリニューアルしました☆活動プロジェクトのタイムリーな活動情報をご覧いただけるトップページのブログ他、今年からイベントカレンダーも新設しました。アクセスはこちらから☆
<http://ohmirakuza.net/>

【編集後記】

大学では、テスト期間が終わり、いよいよ始まる夏休み! 楽座の各チームもこれから毎週イベントが盛りだくさんです。各チーム趣向を凝らしてつくるオリジナルの告知チラシ。白黒手書きの味のあるチラシもあれば、カラー両面のプロ並みのチラシもありて見ているだけで楽しいです☆そのうち「チラシコンテスト」とかしてみたいなあ。(みた)

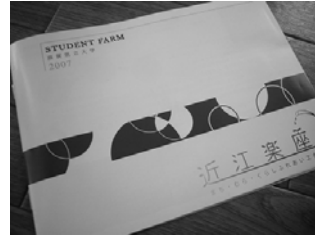


近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

● 2007 年度版活動紹介冊子ができました

2007 年度近江楽座で活動するプロジェクトの紹介パンフレットが完成しました！制作は、昨年度に続き学生委員会の編集部のみなさんの手によるもので、今年のテーマカラーはブルー。各プロジェクトの活動紹介や、今年度のスケジュールなどが大きな写真と共に掲載されています。パンフレットは、事務局（地域づくり調査研究センター）で配布しています。お気軽にお問い合わせください。



■ TEAM NEWS

● 茅葺民家を自分たちの手で

【男鬼楽座】

7月28・29日に彦根市男鬼集落にて茅葺き民家差し茅体験を行いました。当日は、天候にも恵まれ、男鬼楽座のメンバーに加え県大生や他大学の学生、一般の方々総勢40名ほどが、茅葺き職人の指導を受けながら差し茅を行いました。今回使用した茅は昨年近江楽座の体験プログラムで実施した茅刈体験で刈り取ったもの。私たち男鬼楽座が男鬼の民家調査を開始してから4年目でこの様な成果を生み出すことが出来ました。今回は差し茅の実施のみでしたが、将来的には屋根の総葺き替えを目指して今後も活動していきます。



● 陶器のまち 信楽火まつり【信楽人】



7月28日、年に一度の「しがらき火まつり」の日。夕方、私たちも現場作業を早めに終えて、火まつりに参加してきました。陶器の神へ火を奉納するため、2m以上ある手づくり松明を担いで、新宮神社～町中～山頂にある愛宕神社までを行

って帰ってくるという、体力系参加型行事です！参加者は700人以上。元気な小学生から丸太のように太い松明を持つ剛健なおじさん、外国人まで様々。アートインレジデンス中の奈良美智さんもおられました。「こんなのはじめて体験する」とのこと。沿道からの歓声を受けながら、陶器の灯籠が並ぶ川べり・あぜ道、中心地街、くねくね道が曲がった集落内・・・いろんなまちのシーンを練り歩き、結構な山を登って降りてきたらちょうど目の前に花火が！松明が点々と見えるあぜ道越しの花火は幻想的です。ゴールでは、紫香楽太鼓の音が御出迎え。信楽焼メダルと信楽ストラップと火の用心御札をいただきました。窯を使う地場産業ならではの火の祭りなのでした。

● エコカート試乗会を実施しました【菜の花プロジェクト】



8月5日、東近江市のクレフィール湖東特設会場にて開かれた「第4回全国菜の花学会・楽会」に参加しました。そのイベントの一環として行われた、BDFカートの試乗会には、菜の花エネルギー製作による菜の花バイオディーゼル燃料で動くカートも登場。「ゆっくり走ろう！ピタリレース」では、学会参加者だけでなく家族連れの方たちなどたくさんの人に楽しんでもらえてよかったです。

● 赤に染まる中山道「百彩」【C3】

8月10日から12日までの3日間、高宮サマーフェスティバルの一環として、アートプロジェクト「百彩」を開催しました。かつての中山道の宿場町彦根市高宮町が、地元の方や学生らによる手作りの飾り付けで赤一色に染まりました。今年で3回目となるこのイベントは、展示だけでなくスタンプラリーやフォトコンテストも同時開催され、赤い衣装をみにまとったちんどんバンドも登場。例年に増してにぎやかなアートイベントとなりました。炎天下の中、参加者にふるまった“赤いシソジュース”も大好評でした！



● 万灯祭【TTP+】

TTP+は、今年も、8月3～5日に多賀町にて開催された「万灯祭」に参加しました。私たちは2年前からこの祭に携わっており、今年は約15名のメンバーでの参加です。先日の万灯祭・行灯づくりワークショップで作成した、大小あわせて十数個の木製行灯と250個弱の竹行灯を並べる「あかりプロジェクト」は見事大成功！また、今年は、ゼリーを使ったドリンク「ちゅるちゅるジュース」を販売したり、テレビでおなじみの「空気砲ゲーム」をしたりと大忙しでした。今年は準備のワークショップにもメンバー以外の参加があったりと、TTP+にもうれしい出会いが多かった万灯祭になりました。

■ PICK UP

3. エコキャンパスプロジェクト木楽部会 by エコキャンパスプロジェクト木楽部会



本プロジェクトは、木などの自然素材を使った木工作業を通じ、ものを作る楽しさや難しさ、大切さを直接学ぶと同時に、木に関連した地域の産業や資源循環、環境問題に対して、木工という具体的な視点から考えることを目的として活動しています。今年は、昨年度末に完成した造形活動拠点「もくれん」を舞台に、地域住民や小学生を対

象にした木工教室やワークショップなどを開催したり、間伐・植林や素材についての情報発信を行うなど、一人でも多くの人に、ものづくりに興味を持ってもらい、「もの」を取り巻く環境問題について学び考えてもらえるような企画を計画しています。

チーム HP : <http://plaza.rakuten.co.jp/kirakuokiraku>

4. Oumi Food Project by Oumi Food Project



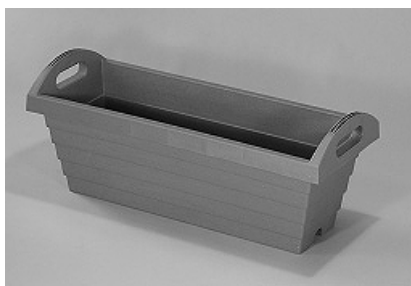
私たちは「彦根ならではのものを手軽に」をモットーに、滋賀県や彦根市ならではの食材を用いたオリジナル料理を提供する手作りの屋台を舞台に、そこでの製作・販売活動を通じて、地域の人や観光客に滋賀・彦根をアピールし、滋賀県立大学発の「彦根名物」を創ることを目的として活動しています。最終的には、我々のメンバ

ーでもある生活デザイン専攻らの学生により製作された屋台が地域に根ざし、地域住民や観光客に彦根の良さを「食」を通して伝えながら、人間文化学部の学生と地域を結ぶシンボルになることを目指しています。

■ チーム伝言板

【廃棄物バスターズ】リサイクルプランターが待望の商品化！

廃棄物バスターズが平成 16 年度より開発を進めてきた、家庭分別廃プラから製造した 95% 以上の破棄物を含む「リサイクルプランター」が、いよいよ商品化されます。これは、一般家庭や産業廃棄物として不要となったポリエチレンやポリプロピレンから調製されるリサイクルペレットを原料とするもので、9/8 より県内アヤハディオ 23 店舗での限定販売です。



この商品の最大の特徴は“回収システム”まで含めたビジネスプランを提案していること。例えば、このリサイクルプランターが耐久年数を越えて不要となった場合には、アヤハディオにて回収を行い、そしてその際のお客様のメリットとしてアヤハディオ各店で使える“ポイント還元サービス”を付与していただくプランの検討も始めています。私たちは、これからも持続可能な社会と環境保全に役立つ、まさに環境県・滋賀県に相応しい循環型システムの構築モデルを目指してがんばります！

【古民家楽座】「彦根遊び博 2007『七曲がりて遊ぼう』」を開催

「彦根遊び博」とは、それぞれの人が、自分だけが知っている彦根を紡いで、皆で楽しむ「遊び博覧会」に進化させたものです。昨年 NPO 法人彦根景観フォーラムが主催した彦根城築城 400 年祭「談話室」『それぞれの彦根物語』で話題となった、彦根の新しい遊び方で現地をみんなで歩きます。古民家楽座では、このうち「脇街道・七曲がりて遊ぼう」コースの企画運営を担当しています。伝統的な町家建築の公開や新しい町家の住まい方などの解説や、七曲がり仏教職人の技術に触れてみませんか。下記まで事前にお申し込みください。■日時：9/8 日（土）13:00～16:30 ■集合場所：寺子屋力石（彦根市河原 2 丁目 3-6） ■参加料：無料 ■連絡先：滋賀大学産業共同研究センター：〒522-8522 彦根市馬場 1-1-1 / TEL: 080-1416-5968 / FAX: 0749-27-1431 / E-Mail: jrc@biwako.shiga-u.ac.jp

【その他】「学生地域活動サポート講座」受講生募集（再掲）

近江楽座事務局である地域づくり調査研究センターでは、地域活動や NPO に興味がある学生の皆さんを対象に、「学生地域活動サポート講座」を開催します。全 8 回の講座では、毎回様々な分野で活躍する県内の NPO 関係者の皆さんのお話が聞ける他、実際に学内のグループからの活動現場を実際に体験します。NPO って何？ 地域活動をしてみたいけど何から始めたらいいかわからないという学生のみなさん、まずは気軽に、始めてみませんか？ ■日時：10/1（月）～隔週月曜日に全 8 回開催 ■場所：大学サテライトプラザ彦根 C 教室（アルプラザ彦根 6 階） ■対象：滋賀県立大学生（主に 1～2 年生） ■定員：30 名 ■参加費：無料 ■連絡先：滋賀県立大学地域づくり調査研究センター（担当：奥野・矢野）：TEL: 0749-28-8299 / E-mail: okuno.o@office.usp.ac.jp

< 毎号近江楽座のプロジェクトを紹介していきます！ >

■ 来月の楽座

9 月の楽座の活動予定です。
（主に外部向けの活動を掲載しています。）

- 9/8 七曲がりて遊ぼう（古民家楽座）
- 竹の除伐・間伐、竹紙づくり（エコキャンパスプロジェクト）
- キャスルロードでテスト販売（Oumi Food Project）
- 茅の収集（男鬼楽座）
- 四番町での作品展示・販売と、湖東焼の紹介（UTSUWAD）
- まちなかに隠れる“ギャラリー”調査（信楽人）
- 彦根市野瀬町の長寿会にて腰痛予防教室（未来看護塾）
- 川相公園計画遊具制作（TTP+）
- 磯部邸改修・合同合宿（とよさと快蔵プロジェクト）
- 菜の花の栽培準備（菜の花エネルギー）
- 聞き書き集の発行・聞き取り調査の実施など（くつきチーム）
- 屋台製作（わいわい楽座）
- 第二回展示会（Living Design 11th）
- 「滋賀ビジネスパートナー2007」、「テクノロジーサチカンファレンス」に出展（廃棄物バスターズ）

■ 事務局だより

▼近江楽座ホームページオープン中

近江楽座のリアルタイムの情報は、下記ホームページよりご覧いただけます。チームの活動レポートやイベントの告知や、事務局からのお知らせなど情報満載です。たくさんのアクセスをお待ちしています！

<http://ohmirakuza.net/>

【編集後記】

昨年皆さんに好評いただいた活動紹介パンフレットが、今年も完成しました！一昨年までは「成果報告パンフレット」として、活動の翌年度に作成されていたこの冊子。少しでも各チームの普段の活動に役立ててほしいという思いから、学生委員会の手によって、夏休みのこの時期に発行することができるようになりました（感謝！）。仕上がりはプロ並、でも思いのいっぱい詰まった手作りの冊子なのです☆ぜひ手にとってご覧くださいね。（みた）



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する。滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

● 湖北で暮らしませんか？

今年から新たにスタートした近江楽座Bプロジェクト。地域からの提案を受けて、テーマを設定し、学生チームを公募・選定し、活動するというものです。今年は、滋賀県が実施している「都市と地方の交流居住・移住促進事業」というテーマつい

■ TEAM NEWS

● 朽木の盆踊りに参加しました

【くつきチーム】



「盆踊りがあるんや。遊びにくるか？」そんな朽木のおじいちゃんからの誘いを受け。8月3日、やまゆりの里にお邪魔しました。到着するとホールからは江州音頭が聞こえ、とても賑やかな様子。早速くつきチーム

も踊りの輪に参加しました。ほとんど初対面の方ばかりでも、温かく輪の中へ迎えてくれるのが朽木の人の素敵なおところ。見よう見まねで踊り、たくさんの笑顔と出会い、楽しい時間を過ごしました。

その後は、おじいちゃんおばあちゃんとおしゃべり。今、自分たちが関わっている朽木東小学校・朽木中学校の体育館改築事業での広報活動が、読み手である朽木の方にどう受け止められているのか、自分たちの活動をどう思っているのか、そんな皆さんの生の声を聞くことができました。一言一言が心にしみ、課題も見えてきました。改めて、自分たちの活動は朽木の人がいてくれるからこそ出来るということ、そしてひとりひとりの声が活動の大切な原動力であると感じた1日でした。

● 七曲がりで“遊ぼう”を開催【古民家楽座】

9月8日に、「彦根遊び博 2007『七曲がりで遊ぼう』」を開催しました。昼過ぎに、寺子屋力石に集合し、古民家楽座が企画した、「協街道・七曲がりで遊ぼう」コースを歩きました。当日は、20名ほどの参加者が集まり、七曲がりをゆっくりと回りました。古民家楽座が、伝統的な町家建築や新しい町家の住まいなどを解説しましたが、参加者の間でも、古民家に関する様々な話題が出ていました。また、七曲がり内にある仏壇店で仏壇職人の技術に触れたり、公開された数軒の町家を見学したりしました。

町歩きの後には、旧村岸邸で、皆でお茶を飲みながら、邸宅内を観覧したり、パワーポイントを使いながら、七曲がりの特徴を説明したりしました。約4時間のイベントでしたが、天候にも恵まれ、参加者だけでなく私たちも、七曲がりについて楽しく学べたと思っています。



● ボーダレス・アート・ジャム【信楽】

9月17日、作家さんたちと「窯元散策路」ルートを中心にフィールド調査を行いました。ふと横道を走ると、信楽が一望できる草原が広がっていたり、山際に巨大な工房跡を利用したギャラリーやいろんなタイプの登り窯があったり、なんとも味のある空き家、工房が点在していたり、ルートの目印になるようなお地蔵さまを発見したり、不思議な場所におでんの自販機がぼつんとあったり…。ギャラリースポットを探すどころか、候補がありすぎて、どれに絞ろうか、どのエリアをメインにするかと悩んでしまう程でした。散策した後は、改装現場近くの事務所で話し合い。使用用途の分類や展示内容など具体的に話が進んでいきました。

さて、この「ボーダレス・アート・ジャム」とは今回のフィールド調査を元に、企画される「まちなか in アート」のタイトルなのです。アートでまちを賑やかそうというのが狙い。私たちは、この企画の補佐をする他、フィールド調査内容をマッピングしデータとして管理していくことで、今後のイベントの基礎資料や景観要素の分析資料として役立てていきたいと考えています。それにしても作家さんたちは個性派ぞろい。翌週24日にも、約30人ほどの作家さん達が、今日調査したギャラリースポットを参考に、まちを散策しました。今から本番がとても楽しみデス。



● 製作展を開催しました

【Living Design 11th】



今年で11回目を迎える、滋賀県立大学生活デザイン専攻によるファッションショー。いよいよ viva city でのショーを来月に控え、服をより間近で見て、学生それぞれの表現の違いを楽しんでいただきたいという思いから、9/10(月)から3週に渡って、県大交流センターなどで服の展示会を開催しました。今回は、「発想ーデザインー服」という製作段階をそれぞれ変化させながらの展示です。当日は、映像や音楽が流れる空間にショーを控えた服が展示され、制作者のコンセプトなども紹介されました。服に身近に触れていただくことにより、ビジュアルだけではなく、素材にこだわった服たちの様子を感じてもらえたのではないかと考えています。viva city ファッションショーは 10/8 が本番。ぜひ、遊びに来てください！

センターなどで服の展示会を開催しました。今回は、「発想ーデザインー服」という製作段階をそれぞれ変化させながらの展示です。当日は、映像や音楽が流れる空間にショーを控えた服が展示され、制作者のコンセプトなども紹介されました。服に身近に触れていただくことにより、ビジュアルだけではなく、素材にこだわった服たちの様子を感じてもらえたのではないかと考えています。viva city ファッションショーは 10/8 が本番。ぜひ、遊びに来てください！

PICK UP

3. 再興湖東焼プロモーション事業 by UTSUWAD



江戸時代にわずか 60 年という短い年月でその短い歴史に幕を閉じた湖東焼。私たち UTSUWAD は、湖東焼の陶芸家である中川一志郎氏、NPO 法人「湖東焼を育てる会」や県立大学陶芸サークルなどと連携しながら、もう一度彦根の地に湖東焼を根付かせるための活動を行っています。近江楽座での 3 年目となる今年の活動は、昨年度に引き続き、地場産業や市場の調査、地域住民を対象とした陶芸教室の開催のほか、彦根城築城 400 年祭に関連した展示会などのイベントの開催、昨年度作成したパンフレットやホームページを活用しての湖東焼の広報などに力をいれています。

<毎号近江楽座のプロジェクトを紹介していきます！>

4. 信・楽・人-shigavaki field gallery project by 信楽人



陶器の産地として県内有数の観光地である信楽は、現在若者の地元離れや跡継ぎの減少、産業の衰退といった問題を抱えています。数年前から信楽の魅力を再発見するための活動があるものの、それらは短期間・単発であるのが現状です。そこで、私たちは、それらを恒常化させるための拠点づくりやイベントの提案、各種団体・企画のネットワークづくりを目的として活動を始めました。今年度は、若手窯元集団 SHIN-RA と協同しながら、広報戦略や商品開発など具体的な目的別にチームを結成し、古民家を改装したギャラリーの製作やそこでの体験教室など開催を行っています。

チーム伝言板

【Bプロジェクト】滋賀・湖北地域での暮らし体験参加者募集

琵琶湖がまん中にある滋賀県は豊かな自然や美しい景観、また多くの歴史舞台にもなった文化財や史跡、さらには豊富な地域資源を活かした生活文化などがあふれています。この秋、湖北の 4 地域で、都市からの移住を応援するプログラムとして『田舎暮らし体験』『空き家見学』『町家再生塾』を実施します。湖北を舞台にしたあなたの望む暮らし方“湖北スタイル”を見つけてください。
■参加申し込み：裏面申込書で下記まで ■連絡先：滋賀県立大学地域づくり調査研究センター：〒522-8533 彦根市八坂 2500/TEL：0749-28-8612/FAX：0749-28-8567/E-mail:chiiki_grp@office.usp.ac.jp

- ①伊吹山麓 農のある田舎暮らし体験 >>集落散策、地元との交流、暮らし体験
■日時・場所：10/20（土）～21（日）～日帰りコースと宿泊コースの 2 コース～at 伊吹山麓姉川流域■定員・参加費：日帰りコース（10/20 のみ）30 名・2,500 円、宿泊コース 15 名（申込締切：10/10、10,000 円 ※食費、資料代、保険料、宿泊コースは他に宿泊代が含まれています）
- ②浅井の里 古民家の空き家見学 >>空き家見学と再生古民家訪問
■日時：11/3（土）at 長浜市浅井地区■定員：25 名（申込締切：10/24）
■参加費：2,000 円（昼食代、資料代、保険料）
- ③奥琵琶湖余呉 2 日間で田舎を上手に知る>>古民家暮らし実践者との交流、田舎体験
■日時・場所：11/10（土）～11（日）at 余呉小劇場「弥吉」
■定員：10 名（申込締切：10/31）■参加費：10,000 円（食費、資料代、宿泊代、体験料、保険料）
- ④北国街道木之本 よみがえり町家再生塾 >>空き家の修繕体験、町家の暮らし見学
■日時・場所：11/17（土）at 北国街道沿いの町家■定員：10 名（申込締切：11/7）
■参加費：2,000 円（昼食代、資料代、保険料）

【Living Design 11th】Viva City Fashion Show に出演します

「境界」世の中にはたくさんの境界がある。男と女、国と国、あなたと私、ジープで行ける場所と行けない場所……。それらは、ある人にとっては境界であっても、また別の人にとっては境界ではないかもしれない。境界とは自分で作るものであり、同時に、壊し、飛び越えるものでもある。20 人の学生が考える、20 の「境界」を感じてください。■日時：10/8（月）Living Design 11th の出番は 15：30 ごろからを予定しています。■場所：ビバシティ彦根（彦根市竹ヶ鼻町 43-1）



【古民家楽座】足軽組屋敷に行こう！！

古民家楽座では、彦根市内にある足軽組屋敷の「磯島家」の公開イベントに向けて、準備を進めています。磯島家は、旧芦橋 12 丁目の中ほどの角地に建つ、典型的な足軽組屋敷の一つです。磯島家の前庭の南東には、見張り窓を設けた辻番所と呼ばれる付属屋があります。これは、江戸時代の足軽屋敷のたたずまいを伝える貴重な建物ですが、様々な事情により、維持が困難となり、解体される可能性がでてきています。

そこで、古民家楽座では、これらを公開することにより、さまざまな方の意見をもとに、磯島家の保存・活用を模索していきたいと考えています。現在実測調査や掃除などをおこなっており、11 月 11 日（日）開催予定の「彦根遊び博 2007『善利組組屋敷敷限で遊ぼう』」（NPO 彦根景観フォーラム主催）で公開する予定です。詳細は随時楽座 HP などでお伝えします。



来月の楽座

10 月の楽座の活動予定です。

（主に外部向けの活動を掲載しています。）

- 磯島家の清掃・実測調査（古民家楽座）
- 竹の除伐・間伐、竹炭作り、清掃活動（エコキャンパスプロジェクト）
- 間伐（エコキャンパスプロジェクト木楽部会）
- 10/8 彦根元気フェスタ出展、キャッスルロードでテスト販売など（Oumi Food Project）
- 男鬼通信の発行、「茅葺き現場体験会カヤマル'07」参加（男鬼楽座）
- 四番町での作品展示・販売など（UTSUWAD）
- 拠点場所の選定、「SHIN-RA ギャラリー」にてイベント・ワークショップ開催など（信楽人）
- ふるさと楽市・国生み祭（TTP+）
- 磯部邸改修・コスモスパンキンフェスタ・健康フェスタ・オートム（とよさと快蔵プロジェクト）
- 菜の花の種まき（菜の花エネルギー）
- 10/12,26「朽木ぐるぐる瓦版」の発行、小・中校合同ワークショップ（学校林について）の開催（くつきチーム）
- 屋台製作（わいらい楽座）
- 10/1～5：第 3 回展示会、10/8：Viva City Fashion Show（Living Design 11th）
- 彦根築城 400 年祭でのボランティア活動、「びわこ環境ビジネスメッセ 2007」に出展（廃棄物バスターズ）

事務局だより

▼中間報告会を開催します。（予告）

現在、11 月に開催予定の中間報告会に向けて準備を進めています。チームの活動報告はもちろんのこと、チーム間の交流や、楽座を知らない人にとっても楽しんでいただける報告会にしたいと思っています。近江楽座ってどんなことしているの？自分たちの活動と連携できるかも？たくさんのまちづくりのヒントが詰まった報告会、ぜひご注目ください。詳細は次号にて！

【編集後記】

先日の朝、新聞にはさんであつた量販店のチラシを見ていたら、園芸用品コーナーに廃棄物バスターズ製作のリサイクルプランターが！うれしくて、思わず写真を撮ってしまいました（笑）（※リサイクルプランターについては前号参照）。発売前のモニター募集の際には遠く大阪からも問い合わせがあったというこのリサイクルプランター。県内のアヤハディオで好評発売中です☆楽座も 4 年目を迎え、「楽座ブランド」が世に出るようになってきました。うれしい♪（みた）



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をととして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する。滋賀県立大学の教育プログラムです。

RAKUZA TOPIC

● 湖風祭特集～！

11月9日(金)～11日(日)の3日間、県大で開催される湖風祭に、我らが近江楽座のプロジェクトも続々と参加予定です。日ごろの活動を覗くことが出来るチャンス☆気軽に立ち寄りください。



■菜の花エネルギー

▽日時：11/10(土)13:00～15:00 場所：A4-204

▽エネルギー講座や、使用済み天ぷら油からキャンドル作り(先着20名)、エネルギーについての簡単な講義、菜種の搾油を行う他、今年も恒例の、ステージのエネルギー供給を行います。

■エコキャンパスプロジェクト(人と自然を繋げる会)

▽日時：11/10(土) 12:30～、15:00～

▽場所：環境村、アヒル池

▽県大内や県大周辺地域の生き物たちを楽しく知ってもらうための生き物クイズ(環境村)や、実際に県大にいる生き物の展示を行います。また、網が広がる姿や、魚がいっぱい取れるところなど見所満載の投網ショー(アヒル池)も開催！(見学の際は、水がはねたりするので、汚れてもいい服でお越し下さい。)皆で採れたフナを数えよう！！

■エコキャンパスプロジェクト(犬上川竹林プロジェクト)

▽日時：11/9(金)、11(日)11:00～17:00 場所：環境村

▽竹林整備活動の際に出た竹の間伐材の活用し、竹箸作り体験を行います。また、模擬店(交流センター前)では、手作りの竹炭を使った焼きおにぎりを販売します。

■エコキャンパスプロジェクト木楽部会

▽日時：11/11(日) 11:00～17:00 場所：環境村

▽ワークショップ「きらくらぶ」では、もくれんにある端材を使って小さいすを参加者の方と作ります。作ったいすは持ち帰ってもらえます。また、これまで作ったいすの展示や、コーヒー販売も行います。

■未来看護塾

▽日時：11/10(土)、11(日) 10:00～15:00

▽場所：交流センター前

▽「こども広場」と題して、わなげやシャボン玉、ボーリング、折り紙、紙芝居、オリジナルのペープサート(紙人形劇)など、子どもたちが楽しめるブースを設置しています。

■TTP+

▽日時：11/9(金)～11(日) 場所：A4-207

▽木匠塾のこれまでの10年間を振り返る模型やパネルを展示しています。

■LivingDesign11th

▽日時：11/11(日)18:30～19:30 場所：メインステージ

▽今年で11回目を迎えるファッションショー。約20名の学生によって表現されるそれぞれの境界をお楽しみ下さい。

TEAM NEWS

● ビジネスメッセにリサイクルプラランターを展示 【廃棄物バスターズ】

10/24～26に開催されたびわ湖ビジネスメッセ2007において本年度商品化した”リサイクルプラランター”を展示しました。当初、プラランター開発の協力企業の上西産業さんだけの展示予定だったが、販売アヤハディオさんからも申し出があり、期間中はなんと二カ所同時の展示となりました。その甲斐あってか、メッセ参加者からの質問や問い合わせも多くいただきました。また、このリサイクルプラランターをひっさげて、第五回全国大学生環境活動コンテストエココン2007-に応募。東京での活動発表会まで進出できるか…。乞うご期待です！！

● カヤマル'07に参加しました【男鬼楽座】

10月6～8日にかけて京都府南丹市美山町で開催されたカヤマル'07に参加しました。最初の2日間は茅葺きの工程を実際に経験し、最終日の3日目には茅葺きの里を見学しました。この中で現地の職人さんや茅葺きに興味のある他大学の学生と交流したり、男鬼の活動PRをしたりと有意義な時間を過ごせました。今後もこういったイベントを通して男鬼の存在を知ってもらおうと共に男鬼楽座の活動に活かしていきたいと思っています。



● 農のある暮らし体験【Bプロジェクト】

10月20日、21日に、伊吹山麓姉川流域にて「農のある田舎暮らし体験」を開催しました。これは、今年滋賀県が都市住民の移住を視野に入れた空き民家対策として実施している「都市と農山村の交流事業」の一つで、楽座でもBプロジェクトとして企画運営に携わっているものです。湖北地域を舞台にしたこの事業のうち、この日は伊吹地区の8集落が舞台。遠くは名古屋や東京



から申し込みがあり、抽選で集まったおよそ20名が参加しました。1日目は、まずは地元産の食材がたっぷり詰まった薬膳弁当をいただき、地元の方からお話を伺いました。午後は姉川流域の甲津原・大久保・曲谷の3集落を地元の方の案内で散策し、実際に移住されている方を訪ねたり、空き家を見て回った後、交流会では地元の方々と語り合いながら、湖北の暮らしについて、活発な意見交換が行われました。また、2日目に2つのコースにわかれて芋ほりなどの農業や豆腐作りを体験するなど、それぞれが思い思いに田舎の暮らしを体験しました。体験イベントは、今後、浅井、余呉、木之本でも行われる予定です。

PICK UP

7. 限界集落の村おこし by 男鬼楽座



「武奈」、多賀町の「保月」や「杉」などを対象範囲とし、山間集落再生に向けた限界集落の調査を行いながら、日本全国で失われつつある山間集落の再生の可能性を探っていきます。

今では無人の集落となっている「男鬼（おおり）」は、彦根市に存在する昭和 40 年代の姿を残す集落で、山村の文化的景観が良好な状態で残っています。これまで、自然環境や地域文化などの基礎的な調査や、それらの結果を生かし、景観の保全としての茅刈りや茅場再整備を行ってきました。4 年目となる今年度は、具体的な保存・活用に向けて差し茅、茅場の育成に取り組むとともに、男鬼周辺の

8. 市民および医療に携わる人々とのふれあいを通して志向する未来看護塾 by 未来看護塾



を巡る「定期的なボランティア活動」、同病棟で開催されるイベントへの参加や長寿会での健康支援活動などを行う「生き生き支援活動」、地域住民や医療関係者との「未来の看護のあり方についてのミーティング」を三本柱とし活動を展開していきます。

未来看護塾では、地域住民や医療現場で働く方々とボランティア活動を通して交流し、人が人として生きていくその生き方を支える「未来の看護のあり方」を地域の人々や看護職の方々とともに志向し考えていくことを目的として活動しています。今年度も、彦根市立病院小児病棟やぼぼハウスでの子どもや家族との交流を通じて、地域における健康や生活のニーズ

チーム伝言板

【学生委員会】湖北スタイルを楽しむHP「co-hok.style」オープン

滋賀県のコホク地域への交流居住・移住に関する情報サイト「co-hok.style（コホクスタイル）」がオープンしました♪これは、楽座 B プロジェクトとして採択された近江楽座学生委員会からの手によるもので、滋賀県の湖北地域に興味をお持ちの方、古民家での暮らしに憧れている方、田んぼをしながらエコ生活を実践したい方へ、地域に密着したリアルタイムの情報を発信していきます☆生まれただけのこのサイト。これからどんどんコンテンツも充実してパワーアップしていく予定です。ぜひご覧ください^^

co-hok.style（コホクスタイル） <http://www.cohok-style.jp/>

【男鬼楽座】「茅刈り大作戦」参加者募集！

男鬼楽座では、昨年度に引き続き、茅刈りを行います。茅は一冬蓄えられ、来年の差し茅に利用されます。また、私たちは茅の収集とは別に、もともと男鬼の周辺に存在した茅場の復活にも取り組んでいます。茅(ススキ)の穂を蒔き、茅の生息地帯を復活させようと考えています。そしてゆくゆくは男鬼の茅葺き民家の茅を供給していただけるような段階まで進めていく予定です。茅刈りをしてみたい方はもちろん、私たちの活動に賛同してくれる方の参加をお待ちしています！茅刈り当日の詳細は未定。下記まで気軽に問い合わせてください。■日時：11/23（金）・24（土）■場所：多賀町保月地区■問い合わせ：県立大学保存修景室：0749-28-8611/E-mail：hamazaki-ken2@excite.co.jp



【Oumi Food Project】シティマラソンで近江牛バーガーを販売

今年で 21 回目を迎える彦根シティマラソンにて、近江牛バーガーの屋台を出展します。当日の販売個数は未定ですが、イベントでは販売後すぐに売り切れる人気のハンバーガー。ランナーの皆さんはもちろん、たくさんの方々に味わってほしい自慢の味をぜひご賞味ください。■日時：11/18（日）8：00 ごろから販売予定■場所：県立彦根総合運動場多目的広場（滋賀県彦根市松原町 3028 番地）■問い合わせ：彦根シティマラソン実行委員会事務局：彦根市尾末町 1-38 彦根市教育委員会内/TEL：0749-22-8871

【事務局】近江楽座車座座談会×パネル展開催のお知らせ

日ごろ異なるテーマやフィールドで活動している近江楽座の全 21 プロジェクトが一同に会し、それぞれの近況報告や意見交換を行う車座座談会を開催します。地域に根ざしながら活動する学生らの生の声には、まちづくりや地域活動へのヒントが盛りだくさん。学生のみなさん、地域の皆さん、ぜひ、お問い合わせください。同時に、活動パネル展も開催します。■日時・場所：車座座談会・ポスターセッション：2007 年 12 月 6 日（木）15：00～大学交流センターホワイエ/パネル展：2007 年 12 月 3 日（月）～8 日（土）大学交流センターホワイエ、9 日（日）～12 日（水）10：00～17：00 サテライトプラザ■問い合わせ：大学地域づくり調査研究センター：滋賀県彦根市八坂町 2500/TEL：0749-28-8612/FAX：0749-28-8567/E-mail：rakuza@ses.usp.ac.jp/URL：http://ohmirakuza.net/

<毎号近江楽座のプロジェクトを紹介していきます！>

今月の楽座

11 月の近江楽座の主な活動予定です。

- 11/11 足軽組屋敷・辻番所の公開イベント（古民家楽座）
- 11/9、11 湖風祭にて竹箸づくりなど（エコキャンパスプロジェクト）
- 11/18 彦根シティマラソンにブース出展など（Oumi Food Project）
- 11/23・24 茅刈り大作戦！（男鬼楽座）
- 四番町での作品展示・販売・湖東焼の案内作り（UTSUWAD）
- 11/10、11 湖風祭にて「子ども広場」（未来看護塾）
- 定例活動（ボランティアサークル Harmony）
- 11/9～11 湖風祭にて展示。伊吹草の里ワークショップ（TTP+）
- 磯部邸仕上げ（とよさと快蔵プロジェクト）
- 11/10 湖風祭にてステージ用エネルギー供給・エネルギー講座の開催など（菜の花エネルギー）
- 「朽木ぐるぐる瓦版」の発行、小・中校合同ワークショップの開催（くつきチーム）
- 11/10 湖風祭にてクイズ、投網ショーなど（エコキャンパスプロジェクト）
- 11/3 二五八祭りでフリーマーケット運営（わいわい楽座）
- 湖風祭 Fashion Show・展示会・写真撮影会（Living Design 11th）
- 彦根築城 400 年祭でのボランティア活動・「滋賀県リサイクル製品認定制度」取得に向けた取り組み（廃棄物バスターズ）

事務局だより

▼ニュースレター好評配信中

現在第 7 号まで発行している、このニュースレター「ohmi-rakuza.net」。学内他、彦根市内を中心に県内主要施設に配布しています。ご希望の方には送付いたします。詳細は事務局までお尋ねください。また、HP にてバックナンバーの掲載を始めました。こちらも要チェック！

【編集後記】

大学の後期講義も始まり、楽座もいよいよ後半戦に突入。毎年、湖風祭を始めとしたイベントが盛りだくさんで、学生たちに会うたびに、彼らの顔からお疲れモードを感じる季節です（苦笑）。プロジェクトの指導教員らを中心に構成される教員会議でも、来年度についての話が議題に上るようになっていたり、事務局ものんびりしていません。ただいま座談会に向けての準備に奔走中。そしてその後は報告書…。あっという間に今年も魔の年度末を迎えそうです…。（みた）



ohmi-rakuza.net

2007.12.1 vol.8

近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する。滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

● 湖北の暮らしを体験～古民家見学、田舎体験…



10 月に伊吹で開催されたプログラムに引き続き、11 月は 3 つの地区で古民家などを巡るプログラムを実施しました。

11 月 3 日（土）浅井の里では、県外からの 20 名を含む 29 名の参加者とともに、古民

家の空き家や再生古民家を訪れました。その後長浜市池奥公民館で行われた意見交換会では、移住に対する期待や不安を話し合いました。参加者は小さな子ども連れの家族や定年を

迎えた夫婦などさまざまで、「空き家の家賃はどれくらいするのか」「空き家だけでなく農地もあるのか」など次々と具体的な質問が飛び出す場面も。

また、11 月 10（土）日、11 日（日）には、奥琵琶湖余呉にて、古民家暮らしの実践者との交流や田舎体験のプログラムを実施しました。10 名の参加者は、築 200 年以上経過する「余呉小劇場弥吉」を会場に、余呉へ 1 ターンした大工さんや農業に従事する方々と交流したり、餅つき、薪割りなどの体験をしました。夜の交流会では、お酒を飲みながら地元の方々と語り合い、余呉での暮らしの魅力や苦労話などさまざまな体験談に花を咲かせました。

11 月 17 日（土）には、県内外含め 15 名の参加者が、北国街道木之本で空き家の修繕体験や町家の暮らし見学を行いました。3 つのプログラムでは、いずれも定員をオーバーする申し込みがあり、古民家や町家への関心の高さが伺えました。参加者の中には、今すぐに移住を考えている方だけでなく、週末や短期間生活しながら、少しずつ田舎暮らしを始めていきたいという方も多かったようです。今後は、今回のプログラムでいただいた意見を参考にしながら、受入体制づくりや組織づくりなどについて、本格的に検討していきたいと思っています☆

■ TEAM NEWS

● とよさと恒例秋のイベント！

【とよさと快蔵プロジェクト】

とよさと快蔵プロジェクトは、毎年恒例となっている豊郷町のイベントに続けて参加してきました。まずは 10 月 21 日に開かれたコスモスパンクフェスタ。この日は晴天にも恵まれ、一面に広がるコスモス畑がとてもきれいでした。そして、その中に作られた大迷路中にひそんでいたのは…前日メンバーが夜遅くまでかけて作ったハロウィンのかぶりもの・マントを身につけた「かぼちゃマン」！！なんでもかぼちゃマンを見つけるとお菓子がもらえるとか…。逆に、見つかってしまうとお菓子を取りあげられてしまうという、恐ろしい「ピーマン」もひそんでいます。子供たちは笑ったり・泣いたり・笑ったりと大忙しの様子でした。また、11 月 4 日には、オータム・フェスタに参加。日ごろの感謝の気持ちを込め、前日から仕込んでいたしばきうどん・おでんなどのお店を出しました。予想以上のお客さんの数にびっくり。フリマも開催されており、掘り出し物大好き快蔵メンバーは両手いっぱいの荷物を抱えて帰って行きました。



● エネルギー講座を開催しました

【菜の花エネルギー】

11 月 9 日の湖風祭にて、エネルギー講座、使用済み天ぷら油からのキャンドル作り、エネルギーについての簡単な講義、菜種の搾油イベントを行いました。また、今年も毎年恒例となっているステージのエネルギー供給を行いました。講座やキャンドル作りでは、親子連れなど 20 名ほどが参加してくれ、慣れない進行に手間取るメンバーに暖かい視線を送る場面も…。両者共に、文字通り思い出深い一日になりました☆



● 二五八祭に屋台を出展【わいわい楽座】

古くから市場町として発展した八日市でその伝統を受け継ぐ、本市の文化・産業の一大イベント、二五八まつりに、私たちわいわい楽座も参加しました。昔、二・五・八のつく日に市が行われていたことにちなんで名付けられたこの祭りは、楠の街路樹が美しい官庁街の路上約 1 km を歩行者天国にして行われており、青空のもとでフリーマーケットが路上いっぱいにならびます。11 月 3 日、私たちは、この日のために八日市のダンボール会社の協力を得て製作したダンボールの屋台や、生活デザインの演習で制作された屋台を出展しました。屋台では、商店街の方の協力を得ながら、八日市の商品などの販売宣伝を行いました。また、障害者支援センター「あゆみ工房」の協力を得て、あゆみ工房作成の商品を販売しました。今回製作した屋台は廃材の再利用によるもので、持ち運びやすさ、簡単な組み立てを可能にしています。これをきっかけに八日市商工会議所が学生の屋台コンペに興味を示しており、八日市での継続的なコンペの実施を目指した動きが始まりそうです！

● 湖風祭 ファッションショー

【Living Design 11th】



10 月に彦根市で開かれた Vivacity ファッションショーに続き、今年も 11 月 11 日に湖風祭でショーを開催しました。毎年天候との戦いになるこのイベント。朝からずっと心配していました。今年も途中から雨が…。しかし、激し

い雨にも関わらず残ってくれた大勢の観客に見守られながら、無事に最後までショーを続けることができました。出演した学生たちも、最初は緊張していたものの、最後はみんなで大盛り上がりで、充実感いっぱいの日を終えました。また、ショーの前日である 9 日と 10 日には 9 月より定期的に開催されてきた展示会の第三弾を開催。ショーでモデルたちが着た服を展示しました。今後は、プロジェクトの最終成果物としてのスーパーパンフ（写真集）や DVD の作成、HP 作成などの活動を通じて、汗と涙の日々を私たちなりにまとめていきたいと思っています。

PICK UP

9. 障がい児・者、自立支援・共生社会プロジェクト by ボランティアサークル Harmony



私たちは、甲良養護学校に通う子ども達の保護者有志と養護学校教員で構成する『作業所つくり準備会・Melody』の支援を中心に、自閉症などの障がいを持った子ども達の余暇活動支援や、彼らと地域との交流支援を行っています。5年目を迎える今年の活動は、お茶会と粘土工作といった毎月1回定例活動や、お茶畑の草刈や茶摘みや製茶体験や、宿泊体験といった季節のイベント

を、ハンディを抱えた子ども達やその家族、養護学校教員、地域の方などと交流しながら行うことで、学生自身が障がい児・者とのコミュニケーションを学び、社会人として成長することを目指します。

10. Taga-Town-Project+ by TTP+



私たち TTP+は、多賀・湖東地域のニーズや過疎化・高齢化・第一産業の衰退など抱える問題に、まちの人との議論と提案を通して考え、地域が元気で個性あるまちとなることを目指して活動しています。今年度も、毎年恒例の多賀大社の万灯祭への参加を中心に、木材を使用した「多賀町景観計画」の企画提案や、若者の視点での地域イベントの活性化など、多くの事業を計画しています。また、今年度より本格的に製作が始まる「川相公園制作計画」では、自分たちの手で間伐・製剤を行

ったり、自然に力を利用した感想方法を学びながら、自分たちの活動ツールとしての木材についてもより理解を深めていきます。

チーム伝言板

【エコキャンパスプロジェクト】門松を作ってみませんか？

オリジナルの門松を作って楽しく正月を迎えてみませんか？犬上川竹林プロジェクトでは、今年も多賀町立博物館との共催で門松作り講座を開催します。講座は松コース、梅コースと2種類あり、20cmか1mと、それぞれ出

来上がる門松の大きさが違います（写真は梅コース）。門松の竹は放置竹林を間伐した竹を使うため、林もきれいになって、門松も作れるとは一石二鳥！「門松なんて簡単に作れるの？」という人でも大丈夫。スタッフが丁寧に教えてくれます。冬休みの思い出づくりに、子どもの参加もお待ちしています！
■日時：12/23(土)9:30~12:00
■場所：多賀町立博物館 多賀の自然と文化の館※外での作業もあります。温かい格好でお越しください。
■参加費：100円+実費 500~1000円（サイズにより異なります）
■定員：20名（要事前申し込み）※小学校低学年以下の子は保護者同伴のこと
■問い合わせ：多賀町立博物館・多賀の自然と文化の館（担当：金尾）：〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2/TEL: 0749-48-2077/FAX: 0749-48-8055/E-mail: museum@tagatown.jp/HP: http://www.tagatown.jp/~taga-mus/



【ボランティアサークル Harmony】クリスマスコンサートを開催します。

ボランティアサークル Harmony では、12月8日に、障がい児・者のためのクリスマスコンサートを開催します。当日は、滋賀県立大学吹奏楽部による演奏のあと、14:40からは滋賀県立大学を元気にする会によるもちつき大会も予定しています。障がいをもった人たちが自ら音楽を楽しみ、一般の方たちにも同じように楽しんでいただきたいと思います。そして、地域の皆さまに障がい児・者への理解を少しでも深めることができるようなひとときを過ごしていただければと考えています。料金は無料ですので、ぜひお気軽にご来場ください。
■日時：12/8(土) 14:00~
■場所：滋賀県立大学交流センター
■問い合わせ：ボランティアサークル Harmony（担当：井流）：E-mail: zi31airyuu@ec.usp.ac.jp

【くつきチーム】「朽木ぐるぐる瓦版」を発行しています

今年度より朽木で始まった「朽木東小学校・朽木中学校施設整備事業」。新しい体育館を朽木の人みんなで作ろうというのですが、「みんなで創る」それは言うは易く、行なうは難し。一人でも多くの人にとって愛着を持ってもらえる体育館の完成を目指して、くつきチームでは広報活動をサポートしています。事業の「今」を刻々と伝える広報誌を作りたい、寝たきりの人にも、外に仕事に行き夜帰ってくる人にも事業を身近に感じてほしい、そんな思いで7月から発行している「朽木ぐるぐる瓦版」も、現在9号まで発行しました。これからも、私たちの活動の原点である聞き取り調査のノウハウを活かしながら、くつきチームらしい広報誌を作っていきたいと思っています。

<毎月近江楽座のプロジェクトを紹介していきます！>

今月の楽座

12月の近江楽座の主な活動予定です。

- 12/3~12 近江楽座パネル展
- 12/6 車座座談会
- 竹の除伐・間伐、竹炭作り（エコキャンパスプロジェクト）
- 「もくれん」整備ワークショップ（エコキャンパスプロジェクト木楽部会）
- 橋本商店街「行こう館」にレストランをオープン（Qumi Food Project）
- 茅刈り、追加調査（男鬼楽座）
- 四番町での作品展示・販売、湖東焼を知ってもらう会 & 自分で作った器でご飯を食べよう（UTSUWAD）
- 12/16~1/8 しがらき冬まつり参加・関連イベント実施（信楽人）
- 彦根市立病院小児病棟でクリスマス会（未来看護塾）
- 12/8 クリスマスコンサート、12/8~9 宿泊体験など（ボランティアサークル Harmony）
- 縁結び道計画（TTP+）
- 磯部邸完成・オープン（とよさと快蔵プロジェクト）
- 聞き取り調査、地域向けの広報誌の作成・配布、体育館改築事業の記録編集住民参加によるワークショップの開催（くつきチーム）
- 12/18 自然観察会（エコキャンパスプロジェクト）
- GISを用いた八日市マップ作り（わいわい楽座）
- スーパーバンプ・DVD制作開始（Living Design 11th）
- リサイクルプランター改良の検討（廃棄物バスターズ）
- 12/1 浅井の里古民家の空き家見学（第二回）

事務局だより

▼近江楽座パネル展×車座座談会を開催！

前号でお伝えした「近江楽座パネル展×車座座談会」の開催が迫ってきました。パネル展は、12/3(月)~8(土)には大学交流センターホワイエにて、また9(日)~12(水)には大学サテライト・プラザ彦根（彦根駅前アルプラザ6階）で、今年度近江楽座で活動する全21プロジェクトの活動パネルが勢ぞろいします。学生たちが日々地域で活動し、喜び、苦悩し、がんばっている姿をぜひご覧ください☆

【編集後記】

今号の誌面にはクリスマスやお正月と、年末ならではのお知らせがちらほら。もうそんな時期なのですね。そうそう、毎月発行しているこの ohmi-rakuza.net も、密かにクリスマスバージョンになっています。みなさん、気付きましたか？次号は新年バージョンかなあ。イラストレーターSさん、よろしく〜☆笑（みた）



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をとおして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する。滋賀県立大学の教育プログラムです。

RAKUZA TOPIC

● 車座座談会×パネル展を開催しました

12/6 (木) 大学交流センターホワイエにて、近江楽座の活動中間報告会を兼ねた「車座座談会」を開催し、会場はチームのメンバーや教員を中心に90名もの参加者で賑わいました。



各チームがこの日のために作成した“活動成果パネル”に囲まれた特設の会場では、全21チームのプロジェクトの代表者が「環境」、「地域づくり」、「暮らしと健康」というテーマに分かれ、それぞれの近況報告や活動の悩み、近江楽座などについて、アツク語り合いました。特に、メンバー不足という悩みは多くのチームから聞かれ、楽座全体としても検討が必要な課題だと再認識しました。

また、座談会の途中では、楽座プロジェクトと共に活動する市民団体のメンバーさんや、5月の審査会で選定委員を務めていただいた方からも、応援のメッセージや叱咤激励があるなど、アットホームながら刺激的な雰囲気の中3時間でした。座談会の後は、お待ちかね、学生委員会主催の交流会のスタート！特製のチーズフォンデュを囲み、学生や教員らが交流を深めました。途中、Living Design 11thのファッションショーの様子や、くつきチームの朽木での活動、信楽人での信楽での作業風景などの数チームの活動DVDが流され、参加者が見入る場面も。参加者からは、「学生の生の声が聞けた」「共通の課題が多く勉強になった」「他チームと交流できてよかった」と概ね好評だった様子。

また、車座座談会に先駆けて12/3 (月)より同会場で「パネル展」が行われ、楽座プロジェクトの活動パネルや、大同工業大学、豊橋科学技術大学、立命館大学、龍谷大学らの地域活性化に関する取り組みを紹介するパネルを展示し、大学の地域貢献についてPRをおこないました。



VOICE at 車座座談会

—車座座談会でのコメントより抜粋—

教室では学べないことを、学ぶ

- ・ まだあまり認知されていない湖東焼を普及していくための難しさや苦労をじかに体験できるということはなかなか経験できないのではないかなと思う。【UTSUWAD】
- ・ コミュニケーションの仕方や高齢者との接し方など、机上で学んだことを、実際に体を動かし活動することによってより習得できていると思う。現場で活動することで、子育てボランティアの必要性など地域の生の声を実感することができる。【未来看護塾】
- ・ 地域で活動することによって自分たちの活動について評価される機会を持つことができ、存在意義を再認識することができた。【ボランティアサークル Harmony】
- ・ 企業と直接やりとりをしていく中で、企業からの期待や要望などをじかに感じる事ができている。また、広告獲得のための営業まわりなど実務面でも学ぶことが多い。つながりの大切さも実感している。【Living Design 11th】

学生が地域に入るコツ？

- ・ まず、自分たちが動くことが一番大切。大学生が持つ専門性に対して、学校側からのニーズは多いと思う。相手を持ち気にかさねるには、自分たちの活動の目的や意義を必死にアピールすることが大事！【廃棄物バスターズ】
- ・ 学生でありながら、自分たちも地域に暮らす住民として「地域の視点」を持つことが大事だと思う。地域と共に考えるという立場を持ってみる。何かを依頼するとき、組織に頼むのではない、キーワードとなる「人」に頼みに行くことが大事である。【金尾滋史さん／多賀町立博物館】
- ・ 信楽では、関係者を除き自分たちの活動はまだ知られていない。私たちの活動を含めた最終目標「信楽でのギャラリー構想」がまちに浸透して行くために、学生という立場なりに、私たちはどう役立てるのかを考えていきたい【信楽人】
- ・ 地域へ外部の人が入りこむという時には地域からの抵抗を受けることもある。しかしBプロジェクトには、県、大学、地元など様々な立場や役割の人が関わっているの、それぞれの立場やつながりを活用し、地域へも入っていきやすくなっているのではないかなと思う。【清水安治さん／滋賀県地域振興課】

メンバー不足は共通の課題

- ・ 新入生を対象に説明会を実施しているが、そこでどれだけ集められるかということが大事になってくる。今後はどうやって他学部の学生を取り込めるかが課題になる。【とよさとゆきプロジェクト】
- ・ 近江楽座自体の学内への情報発信が弱い。近江楽座全体としても、また個々のプロジェクトとしても積極的にPRしていく工夫が必要である。【C3】
- ・ 主に活動しているメンバーが3回生のため、後継者探しは深刻な問題。また、自分たちの活動の意義を伝えることによって地元側の活動の担い手を増やすことも必要になってきている。【くつきチーム】
- ・ 4回生や院生が中心となっているため、継続することが困難。また、複雑に事業展開するBプロジェクトでは、より専門的な知識や経験が求められるため、メンバーも早い時期からのトレーニングを積んでおくが必要になってくる。【近江楽座学生委員会】
- ・ 60人のメンバーのうち、どうしても3回生3人の負担が大きい。専攻の1回生にもあまり活動を知られていないため、今後の人材育成は急務である。【Oumi Food Project】
- ・ 地域から依頼があっても、メンバー不足で断らざるを得ないことがあったのが心苦しい。【エコキャンパスプロジェクト本委員会】

試行錯誤のBプロジェクト

- ・ 現場で実績を積めることがよい。横とのつながりを重視した事業の推進体制の中で、自分たちの役割をきちんと認識しながら活動することができる。【近江楽座学生委員会】
- ・ ・以前空き家に泥棒が入ったこともあり、空き家の調査とデータベース化について地元住民がシビアになっている。いかにして地元の理解を得たり、また信頼関係を気付くかが課題になってくる。【おま本楽座】
- ・ 学生たちがやりたいことと、県からの要望との板ばさみでジレンマに陥ることもあり、学生たちが悩むことが多いと思うが、そんな中で社会性を身につけていってもらえたらと期待している。【清水安治さん／滋賀県地域振興課】
- ・ 地域での活動の中で、自らの「役割意識」をどう持つのが重要になってくると思う。【山根先生】

PICK UP

11. ツナギ創造プロジェクト

by C3 (Community Concierge Consultant)

C3 では、これまで「百彩」や「宿楽」といったイベントを通じて、鳥居本・高宮・豊郷・愛知川という近江中山道を中心とした地域での観光推進や地域の魅力の再発見に取り組んできました。今年度は、過去3年の成果である人的ネットワークや企画ノウハウをうまく活用し、他地域で様々な体験型プロジェクトを実施する「ヒトツナギ」を行います。また、さまざまな「横のつながり」を意識して、イベントマーケティング、HPでの情報発信などを通してプロジェクトを次世代へと語り継ぐ「ツナギ」役を育成するための「カタリツナギ」にも着眼し、学生の広告代理的存在として活動していきます。



12. とよさと快蔵プロジェクト

by とよさと快蔵プロジェクト

とよさと快蔵プロジェクトは、中山道沿いの宿場町として発展してきた近江商人の町、豊郷町を拠点に活動する今年で結成4年目の学生グループです。これまで高齢化や若者の町外への流出などに悩む豊郷町を楽しく活気ある町へと蘇らせるため、利用されなくなった民家や蔵の改修、地域イベントの企画・運営を通じて幅広く活動を展開してきました。今年度は、メイン事業である改修事業やイベント参加などの他にも、改修時に発掘された家具古道具の再生や、改修物件の図面や情報の整理、豊郷町の集落調査ならびに情報発信など、豊郷の魅力さをさらに発信するための活動を展開していきます。



13. 菜の花エネルギー

by 菜の花エネルギー

私たちは、資源循環型地域の実現を目指し、菜の花バイオディーゼル燃料を用いたエネルギー環境教育を菜の花バイオディーゼル燃料に特化して活動を進めています。今年度は、廃食用油の回収会などを通して、家庭から排出される廃食用油の有効活用への理解を深めるとともに、小中高等学校においてエネルギー教育講座を開講しエネルギーと環境に対する意識を高めます。また、休耕地や裏作期を利用して菜の花を栽培、菜種油を搾取して家庭で利用を促進し、さらに廃食用油を燃料化します。こうした一環の流れが根づくよう、地域でのネットワークを構築し、活動を継続させていくことを目的として活動します。



14. 発信基地 in 朽木の森

by くつきチーム

私たちは、高島市朽木をフィールドに、人と人とのつながりやよそ者ならではの学生の視点を活かしながら実地調査、特に聞き取り調査を基本に活動してきました。今年度は、高島市が2年間にわたって行う、朽木中学校・東小学校の体育館建築にむけた地域参加型のプロジェクトへの参加を中心に活動します。本チームは、人々に新しい体育館に対して深い愛着を持ってもらうため、学生らしい発想やこれまで養ってきた技術を活かし、地域のニーズを組むとすることに重点をおき、ワークショップの開催や記録紙の発行を通じて、幅広い世代の地域住民がさまざまな形で参加できるしかけづくりを手伝います。



チーム伝言板

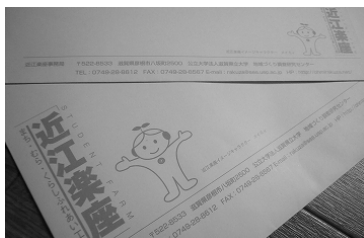
【とよさと快蔵プロジェクト】土壁体験ワークショップ in 礒部邸

私たちは、豊郷町にある礒部邸の1階をコミュニティハウスとして、2階をシェアハウスとして改修する作業に取り組んでいます。礒部邸の改修では、メンバーでコンペを行い決定した平面プランを元に、道路側に開けた庭を最大限に利用して、快適な家作りを進めています。今回、外部より左官職人さんをおよびし、昔ながらの工法で竹であんだコマイに土をぬりつける体験ワークショップを行います。寒さが厳しい季節ですが、土の温もりを感じながら一緒に家作りの楽しさを味わってみませんか♪体験ワークショップのあとは、暖かい鍋を囲んでの交流会を予定しています。礒部邸改修のこれまでの様子は、とよさと快蔵プロジェクトのブログで見られます。<http://toyotoyo.wablog.com/>
■日時：1/20(日) 10:00~17:00 ■場所：豊郷町吉田礒部邸(愛知神社前)
■参加費：無料 ■定員：10名 ■申し込み・問い合わせ：とよさと快蔵プロジェクト / E-mail: post-toyotoyo@hotmail.co.jp ■申し込み締切：1/13 ■その他：途中参加OK。送迎もあり(要事前申し込み)。

事務局だより

▼近江楽座オリジナル封筒が完成!

これまで、ありそうでなかった!? 近江楽座オリジナル封筒が完成しました☆デザインは、近江楽座学生委員会の中野くんによるもの。近江楽座のイメージキャラクター「メィミィ」とビタミンカラーが目印のポップでかわいい封筒です。これからも、学生委員会では、どんどん近江楽座オリジナルグッズを企画・製作していく予定です。お楽しみに♪



< 毎号近江楽座のプロジェクトを紹介していきます! >

今月の楽座

1月の近江楽座の主な活動予定です。

- 竹の除伐・間伐、竹紙づくり、清掃活動(エコキャンパスプロジェクト)
- 木工教室、小学生に向けたワークショップ(エコキャンパスプロジェクト木楽部会)
- 活動報告書作成(男鬼楽座)
- 四番町での作品展示・販売、音楽研修、報告書作成(UTSUWAD)
- 12月16日~1月8日 しがらき冬まつり参加・関連イベント実施(信楽人)
- 報告書作成・調査(とよさと快蔵プロジェクト)
- 聞き取り調査、地域向けの広報誌の作成・配布、体育館改築事業の記録編集住民参加によるワークショップの開催(くつきチーム)
- 地域リソースのデータベース整備(わいわい楽座)
- プランター以外の廃プラ・リサイクル製品の検討(廃棄物バスターズ)

【編集後記】

数ヶ月前から準備していた「近江楽座活動パネル展×車座座談会」がようやく終わり、ほっと一息。当日はたばただった私は、座談会の様子を後日じっくりDVDで観賞しました(苦笑)。驚いたのは、座談会パネラーの学生たちの堂々たる発表ぶり。上級生に混じって、中には1回生が発表しているチームもありました。限られた時間の中で、活動について簡潔に発表したり、質問に答えたり…できそうでなかなか難しいものデス。私が学生だったころ、こんなにしっかりしてたかなあなんて、思わず考え込んでしまいます(みた)



近江楽座は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献をととして、地域社会へ根付いていくプロジェクトを支援する、滋賀県立大学の教育プログラムです。

■ RAKUZA TOPIC

●スキルアップ講座、全回終了！

12/19、大学交流センター研修室にて、地域活動スキルアップ講座の第3回（最終回）「メディアから伝える」を開催しました。講師に、フリーライターであり、元朝日新聞あいあい AI 滋賀編集室の木村愛子さんをお迎えし、メディアを活用した広報について学びました。

学外からの参加を含む8名の受講者は、これまでそれぞれの活動がメディアに取り上げられたことがある様子。簡単な自己紹介のあとは、木村さんからのレクチャーです。具体的に木村さんが編集に携わっておられた地域情報誌「あいあい AI 滋賀」を題材に、実際にこういった仕組みや体制で紙面が作られているかお話を聞いた後は、自分たちの活動を思い描きながら、

それぞれのコーナーを読み進めてみます。すると、あいあい AI 滋賀の情報の特徴や読者層、コーナーの特性がわかってきます。また、実際に自分たちの活動を取り上げてもらう際には、まずは、相手側のメディアの特性や利点を理解しておくことが基本なんですね。



今回の講座の目玉、「プレスリリース」についてのお話では、基本のプレスリリースの書き方や、プレスリリースや情報を出すタイミングの重要性、記者の目に留まるためのちょっとしたポイントなど、時には裏話も交えながら、現場の記者ならではの視点で木村さんが教えてくださいます。特に情報提供のタイミングは重要で、実際に、興味深い内容であっても、直前に編集室に情報が届くために、紙面に載せられないことが多いそうです。

そして、実践編「プレスリリースを作成してみよう」では、それぞれの活動を元に、先ほど学んだ基礎やポイントを意識しながら、実際にプレスリリースを作成してみます。作成したプレスリリースを発表しながら、木村さんからアドバイスをもらったり、それぞれ参加者が感想を言いあったりというざっくばらんな雰囲気は、少人数のアットホームの講座ならではの^^

講座後には、講師の木村さんを交えての交流会が開かれ、さきほどの講座の内容や記者の生活について、学生たちから木村さんへ質問が飛びかっっていました。とってもノリのいい木村さん、途中から完全に学生たちになじんでいました^^



講座後のアンケートでも、「アットホームな感じで、内容も理解しやすくよかった。」「実際に何をやるのかという具体的な目的を持たないと、相手に上手く伝わらないことを改めて認識しました。」「明日から役立つ！」「“新聞”という情報提供には難しそうなイメージがあったが、実際に働いていた方の生の声を聞けたので、以前よりも距離が近くなった気がする。」「と、参加者の反応も上々でした♪

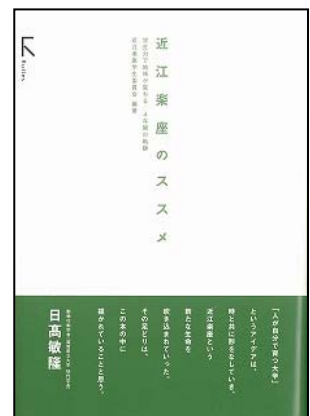
地域活動スキルアップ講座は、「伝える」をテーマに、昨年10月より全3回に渡って開催しました。参加してくれたプロジェクトの活動が、次年度以降パワーアップしてくれることを期待しています！

●近江楽座のススメ、好評発売中

昨年末に出版された「近江楽座のススメ」ですが、現在県内外の書店で好評発売中です。地域活性化を目的とする「近江楽座」で活動する学生たちの汗と涙と笑いの詰まった1冊。学生地域活動をととして悩み、考え、自ら成長していく学生たちの姿を通して、“地域活動のヒント”を探ってみませんか。

「近江楽座のススメ 学生力で地域が変わる／4年間の軌跡」

近江楽座学生委員会＝編著
株式会社ラトルズ出版
定価：1800円＋税



※県内外書店ほか、各インターネットショップでもお買い求めいただけます。（「近江楽座のススメ」で検索してください）

■ TEAM NEWS

●リベンジ達成！エココン準優勝【廃棄物バスターズ】

昨年12/22・23の2日間にわたって、東京で開催されたに全国大学生環境活動コンテスト（通称：エココン）で、廃棄物バスターズが、見事、準グランプリを受賞しました！

エココンとは、環境に関する様々な分野で活躍中の社会人・全国各地から集まった学生・見学者による公開選考を通じ、学生の環境活動を様々な観点から評価、表彰するコンテストです（エココンHPより抜粋）。昨年度に引き続き、2回目のチャレンジとなった廃棄物バスターズ。昨年の予選で1票差で本選に進むことができなかった悔しさをバネに、「廃棄プラスチックを使ったリサイクル・プランター」で、今年リベンジを果たしました☆

また、同じく12月には、リサイクル・プランターが、リサイクル製品の利用推奨を図ることを目的とした「ビワクルエコ製品（滋賀県リサイクル製品）」の認定を受けることが決まりました。少しずつで、でも、着実に広がりを見せているリサイクル・プランターの輪。こみの分別や資源問題について、多くのみなさんが考え、行動してくれることを目指して、私たちはこれからも活動していきます！



PICK UP

近江楽座の活動プロジェクトを、毎号数チームずつ紹介します。

◆八日市屋台プロジェクト(プロジェクトYY) by わいわい楽座

私たちは、八日市中心市街地の街の再生を目標に、地元の既存イベントへの参加・協力や、まちに残されている歴史的・自然的要素や各種機能や人材などの「地域資源」の調査などに取り組んでいます。2008年度は、昨年度の調査で明らかになった地域資源の情報を元に、住民らと共に、まちの魅力を伝える「地域リソースマップ」の作成に取り組めます。さらに、建築や服飾、食生活など近江楽座の他のプロジェクトらと連携しながら、新たに屋台を作成し、地元のイベントなどを盛り上げます。また、これらの取り組みを恒常的かつ継続的なものにするために、空き物件を改装したまちづくり活動の拠点整備を進めます。



◆Living Design 12th FASHION SHOW by Living Design 12th

昨年で11年目を迎えた「ファッションショー」。これまで、ショーだけではなく、ショーの服の展示や服に使用した生地を紹介を通して、豊かな滋賀の繊維産業を私たち自身が学ぶ活動と同時に、滋賀の地に住む市民の方々に地域産業を知っていた

だく場を提供しました。今年度は、地域や会場との“交流”や“一体”テーマに、地域の素材を身近に感じてもらうためのワークショップや、観客と一体となれるようなショーを開催します。“生活デザイン”という、暮らしの中のあるゆるモノを幅広く学んでいる私たちならではの視点で、地域の人々とより一体となって楽しめる空間や時間をデザインしていきます。



◆Let's 複合 by 廃棄物バスターズ

私たちは、一般の家庭から排出されるプラスチック廃棄物95%でできたりサイクル・プランターを製造し、その商品化に向けての研究や普及活動に取り組んでいます。2007年度に、量販店でのプランター販売という目標を達成し、今年度は、活動の集大成である「滋賀県発プラスチック系廃棄物完全循環システムの構築」に向けて、これまでの県外産に代わる県内のプラスチック廃棄物を原料にしたプランターの製作を試みます。また、小学校への園芸用プランターとしてのリサイクル・プランターの配布や環境出張講座などを通して、環境問題に対する意識を高めます。



チーム伝言板

【エコキャンパスプロジェクト】竹炭作り&演奏会参加者募集!



エコキャンパスプロジェクトは、大学の北東部を流れる犬上川の河辺林を、地域住民と協力しながら継続的に維持・管理していくことを目的とした「犬上川竹林プロジェクト」に取り組んでいます。

3月、今年度最後となる竹炭づくりの参加者を募集します。今回は、400kgの竹から、およそ50kgの竹炭を作る予定です。作った竹炭は、そのままプレゼント♪竹炭で浄化した水でご飯を炊いたり、消臭剤として活用したり、活用用途は無限大です。お子様も参加OKです☆

日時: 3/13(金)、14(土) 10:00~ ■場所: 大学エコキャンパスセンター(南駐車場近く) ■定員: なし ■参加費: 無料 ■持ち物など: 汚れてもよい服装で越してください。 ■問い合わせ/TEL: 080-3115-1254(井上) もしくは 080-6168-3220(石丸) ■URL: http://www.fya.jp/~eco_campus/index.html

また、3/5(木) 14:00~、彦根市立病院8階緩和ケア病棟にて、竹で作った手作り楽器「コンチク(※写真右)」の演奏会を行います。入場無料。どなたでも参加いただけます。竹ならではの自然な音色を楽しんでみませんか♪



【長浜楽座・木之本楽座】交流移住を応援する湖北人の交流会を開催します

湖北での田舎暮らしにあこがれている方、湖北に都市からの移住者を受け入れたい方、湖北への交流・移住をサポートしたい方、湖北で新たな人と人との出会いを演出したい方など、湖北を愛する人々(=「湖北人」)が集う交流会を開催します。湖北地域への交流居住・移住促進に向けた、新たな活動づくりのきっかけにしてみませんか?当日は、Bプロジェクトとして活動する長浜楽座、木之本楽座のメンバーによる活動報告のほか、「湖北に移り住む!わたしの湖北をのびる」と題した基調講演、パネルディスカッションといった盛りだくさんの内容です。事前申し込み不要。詳細は、下記URLをご覧ください ■日時: 2/28(土) 14:00~17:00 ■場所: 湖北町役場 2階大会議室(東浅井郡湖北町速水2745) ■参加費: 無料 ■問い合わせ: 大学地域づくり教育研究センター/TEL: 0749-28-8612/FAX: 0749-28-8473/E-mail: chiiki@office.usp.ac.jp ■URL: <http://www.cohok-style.jp/>

事務局だよ!

●20年度成果発表会を開催します(予告)

来る4月に、20年度の活動成果発表会を開催します。近江楽座で活動した23のプロジェクトの成果発表の他、ゲストとして地域の方々をお招きし、チームや地域を越えて交流する大きなイベントです。詳細は次号にて!

今月の楽座

2月の近江楽座の主な活動予定です。(●は、一般参加者募集中)

- 報告書作成【稲枝 Cotton Project】
- 炭焼き・コンチク演奏会【犬上川竹林プロジェクト】
- 地域に向けた木工教室、報告書作成【エコキャンパスプロジェクト木楽部会】
- 報告書作成【近江中山道百彩プロジェクト】
- 男鬼通信・報告書作成【限界集落の村おこし】
- 「食を通して陶器を考える」vo.2【信・楽・人 - field gallery project】
- 報告書作成【ソーラーベロタクシー】
- 報告書作成【Taga-Town-Project】
- 絵本の発行・紙芝居の発表【発信基地in 朽木の森】
- もったいない!手引きの作成【もったいないプロジェクト】
- リキシャ周辺商品の企画、地域ブランド認定への活動【彦根人力舎-彦根地場産業発信計画-】
- 報告書作成【八日市屋台プロジェクト(プロジェクトYY)】

【編集後記】

いよいよ年度末が近づいています。学生たちも、論文や試験勉強に追われながら、プロジェクトの報告書の作りや、後輩への引継ぎに大忙し。継続プロジェクトにとって、次年度の活動スタートがスムーズにいくかどうかは、活動や事務作業などの引継ぎに時間をかけるいかにどうかが大きなポイントのよう。後輩の代に引き継がれたと同時に、活動そのもののノウハウが“リセット”されてしまう事務局立かせのチーム...今年こそ頼みます... (願。みた)